いのち輝く未来を拓く
2025年日本国際博覧会に向けて
さらにその先の未来に向けて

第1回

日本国際芸術祭

Japan Annual-International Art Festival

開催報告

2023.9.1 FRI ~ 10.15 SUN

https://yumeshimakikou.org/jiaf2023/

日本国際芸術祭
専用ページ

主催｜（一社）夢洲新産業・都市創造機構　特別協力｜世界文化遺産 京都 醍醐寺

後援｜京都府 / 京都市 /「大阪・関西万博」京都支援協議会 /（公社）２０２５年日本国際博覧会協会
経済産業省 近畿経済産業局 /（一社）関西経済同友会 / 大阪商工会議所 /（公社）関西経済連合会

メイン会場：世界文化遺産 京都 醍醐寺
京都府京都市伏見区醍醐東大路町22
https://www.daigoji.or.jp/

醍醐寺ＨＰ

プラチナ協賛
阪急電鉄株式会社 Hankyu

ゴールド協賛
OMRON オムロン株式会社
岩井コスモ証券 岩井コスモ証券株式会社
GLION GROUP ジーライオングループ

シルバー協賛
木と生きる幸福 住友林業 住友林業株式会社

日本国際芸術祭とは、2025 年日本国際博覧会を契機に開催する新しい国際的な芸術祭です。万博までも万博後も、千年の都京都、文化庁がある文化首都京都で、アート・デザイン・サイエンス・テクノロジー・経済の共創を目指し、（一社）夢洲新産業・都市創造機構が本部になり毎年継続させてまいります。2023 年の開催期間は 9/1 ～ 10/15、メイン会場を世界文化遺産京都醍醐寺に据え、京都市内・京都府内の画廊、工房、企業ショールーム、大学研究室、美術館等を繋ぎ、京都から大阪や全国、さらに世界に繋ぎ、日本から世界にいのち輝く未来を拓いてまいります。

文化庁 京都へ
JIAF 日本国際芸術祭 Japan Annual-International Art Festival

いのち輝く未来を拓く２０２５年日本国際博覧会に向けて、さらにその先の未来に向けて、アート・デザイン・サイエンス・テクノロジー・経済の共創をミッションに、「第1回日本国際芸術祭」を世界文化遺産 京都 醍醐寺をメイン会場に、４５日間に渡り華やかに開催致しました。文化庁の京都移転が行われ文化芸術立国を目指して日本文化の発信が進む中、その大きなチャンスとなる大阪・関西万博を見据え、「公式参加国共創サミット」「日本国際芸術祭サミット」をメインプログラムとし、文化・芸術が繋ぐ世界の国々やサイエンス・テクノロジー・経済の共創について知識を深め、日本文化発信に貢献致しました。メイン会場である醍醐寺では4名の大阪・関西万博テーマ事業プロデューサーによる企画をはじめ、多数の企画を開催し、京都市内、京都府内外において多数の企画と連携致しました。



主　　催｜一般社団法人夢洲新産業・都市創造機構

特別協力｜世界文化遺産 京都 醍醐寺

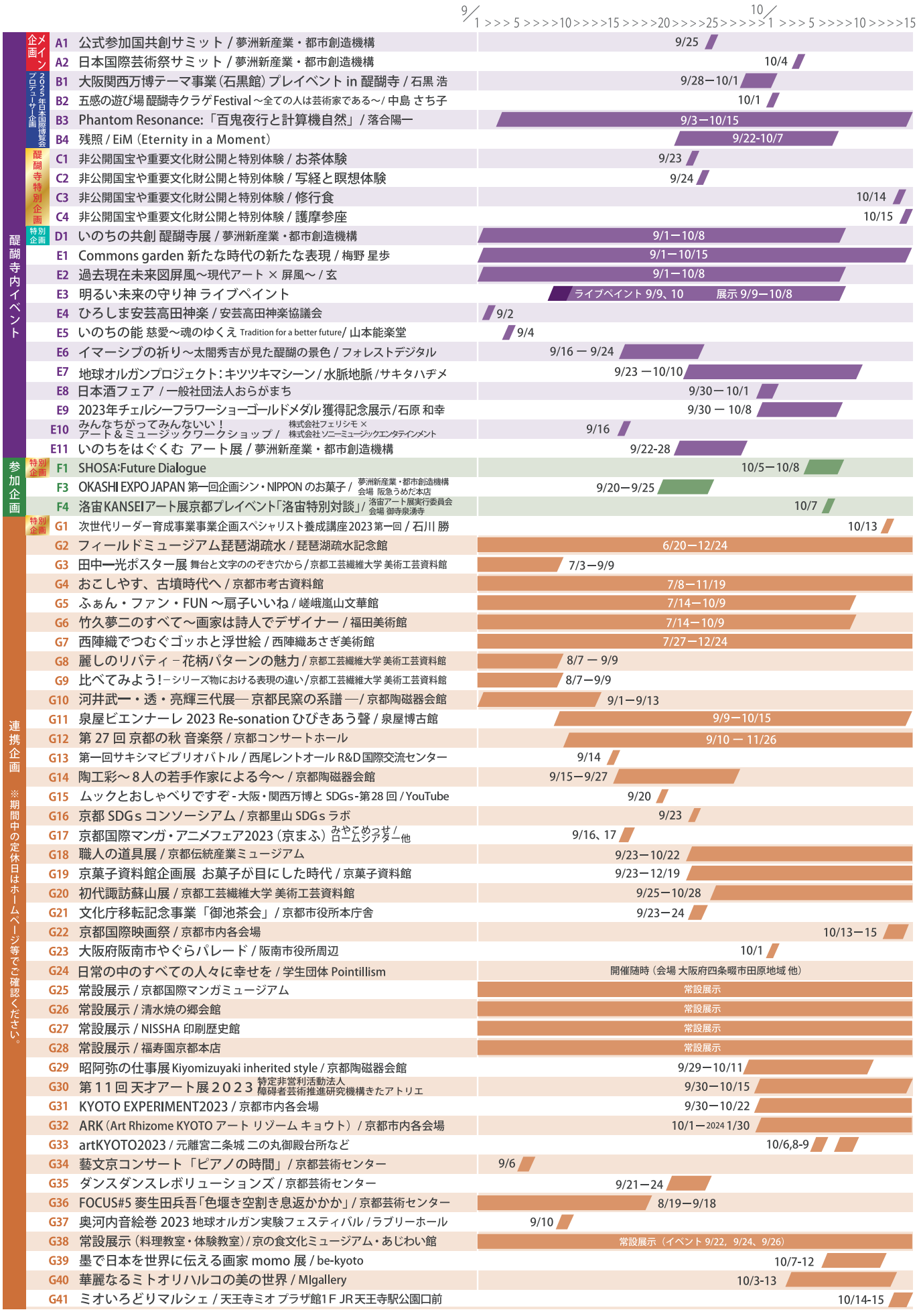
後　　援｜京都府、京都市、「大阪・関西万博」京都支援協議会
公益社団法人２０２５年日本国際博覧会協会、経済産業省 近畿経済産業局
一般社団法人 関西経済同友会、大阪商工会議所、公益社団法人 関西経済連合会

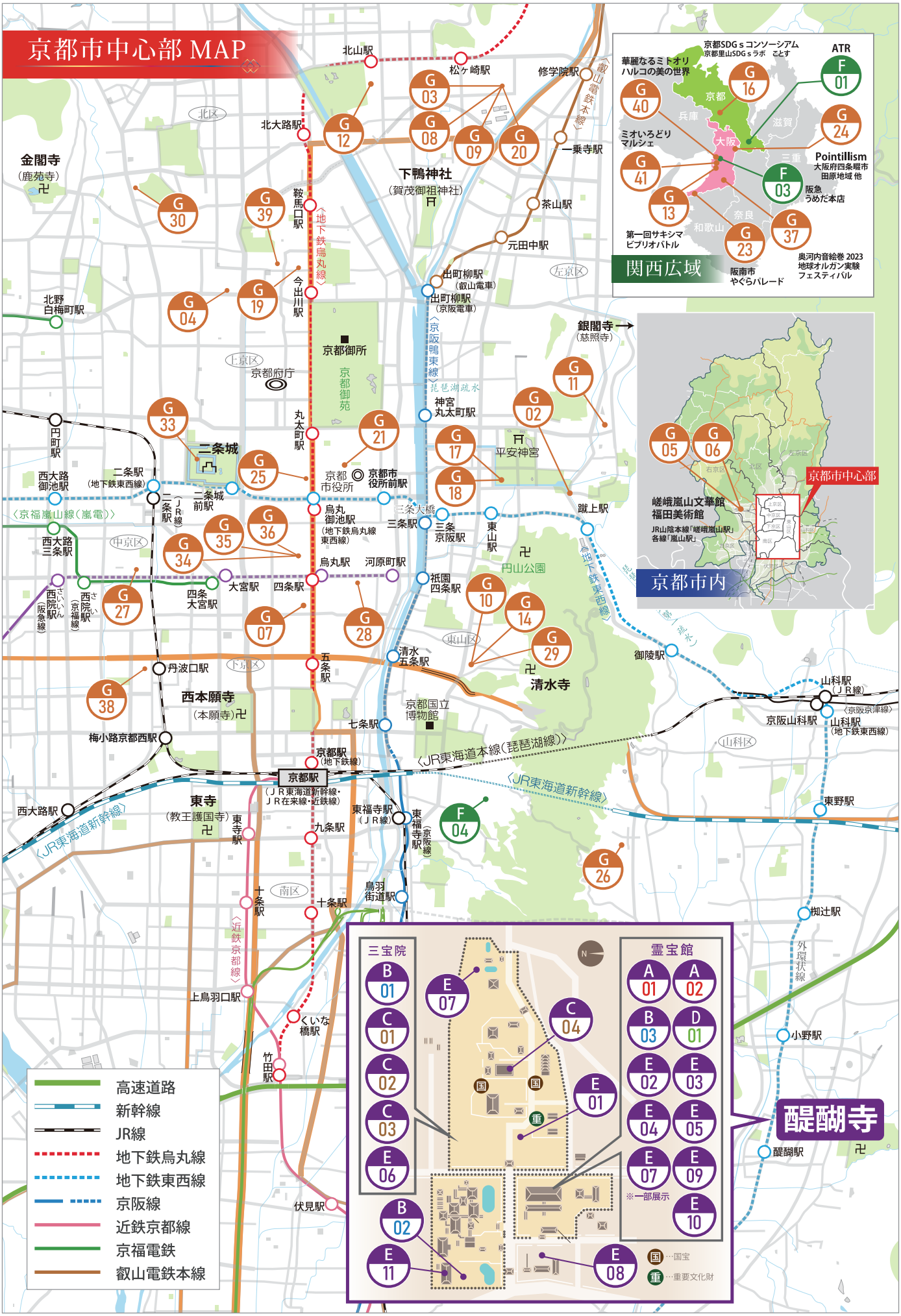
協　　賛｜プラチナ協賛：阪急電鉄株式会社
ゴールド協賛：オムロン株式会社、岩井コスモ証券株式会社、ジーライオングループ
シルバー協賛：住友林業株式会社

開催期間｜2023年9月1日（金）～10月15日（日）

メイン会場｜世界文化遺産 京都 醍醐寺（京都市伏見区醍醐東大路町22）

第1回 日本国際芸術祭 開催企画一覧




京都市中心部 MAP
関西広域
京都市内
京都市中心部
三宝院
霊宝館
※一部展示
国…国宝
重…重要文化財
醍醐寺
高速道路
新幹線
JR線
地下鉄烏丸線
地下鉄東西線
京阪線
近鉄京都線
京福電鉄
叡山電鉄本線
北山駅
松ヶ崎駅
修学院駅
北大路駅
一乗寺駅
金閣寺
(鹿苑寺)
下鴨神社
(賀茂御祖神社)
茶山駅
鞍馬口駅
元田中駅
今出川駅
出町柳駅
(叡山電車)
出町柳駅
(京阪電車)
北野白梅町駅
京都御所
京都府庁
銀閣寺
(慈照寺)
神宮丸太町駅
丸太町駅
円町駅
二条城
平安神宮
西大路御池駅
二条駅
(地下鉄東西線)
二条駅(JR線)
二条城前駅
京都市役所前駅
烏丸御池駅
(地下鉄烏丸線東西線)
三条大橋
三条駅
三条京阪駅
東山駅
蹴上駅
〈京福嵐山線(嵐電)〉
西大路三条駅
中京区
烏丸駅
河原町駅
祇園四条駅
円山公園
四条大宮駅
大宮駅
四条駅
西院駅(阪急線)
西院駅(京福線)
清水五条駅
御陵駅
丹波口駅
下京区
五条駅
清水寺
西本願寺
(本願寺)
京都国立博物館
山科駅(JR線)
京阪山科駅
山科駅(地下鉄東西線)
梅小路京都西駅
七条駅
京都駅(地下鉄線)
京都駅
(JR東海道新幹線・JR在来線・近鉄線)
〈JR東海道本線(琵琶湖線)〉
〈JR東海道新幹線〉
西大路駅
東寺
(教王護国寺)
東寺駅
九条駅
東福寺駅(JR線)
東福寺駅(京阪線)
東野駅
南区
十条駅
鳥羽街道駅
上鳥羽口駅
〈近鉄京都線〉
くいな橋駅
竹田駅
伏見駅
柳辻駅
外環状線
小野駅
醍醐駅
華麗なるミトオリ ハルコの美の世界
京都SDGｓコンソーシアム 京都里山SDGｓラボ ことす
ATR
ミオいろどり マルシェ
京都
兵庫
滋賀
大阪
三重
奈良
和歌山
Pointillism
大阪府四条畷市 田原地域 他
阪急 うめだ本店
第一回サキシマ ビブリオバトル
阪南市 やぐらパレード
奥河内音絵巻 2023 地球オルガン実験 フェスティバル
嵯峨嵐山文華館
福田美術館
JR山陰本線「嵯峨嵐山駅」
各線「嵐山駅」

第1回日本国際芸術祭」のメイン企画として、９月25日(月)にメイン会場である世界文化遺産 京都 醍醐寺 霊宝館にて、「公式参加国共創サミット」をリアル参加形式にて開催致しました。終了後は交流会にて、ご登壇者の皆様と名刺交換や交流をしていただきました。





< 日程 >　9月25日(月)13:00～17:00（ 交流会 17:00～17:30 ）
< 主催 >　一般社団法人夢洲新産業・都市創造機構
< 形式 >　リアル参加形式
< 会場 >　世界文化遺産 京都 醍醐寺 霊宝館

< 開催趣旨 > ２０２５年日本国際博覧会の公式参加国の参加表明が153 か国に達し、夢洲機構では「公式参加国共創フォーラム」を継続して開催しています。第3回は「日本国際芸術祭」を世界と繋ぎ、フォーラムより大規模な「公式参加国共創サミット」を開催致します。公式参加国の代表者から万博への期待や各国のパビリオンをご紹介いただき、世界の国々とアート・デザイン・サイエンス・テクノロジー・経済の共創を通じて、日本文化の発信や、多様な文化・価値観の相互理解が進み、いのち輝く未来社会を創造する国際的な交流・共創の輪が拡がっていけば幸いです。


在大阪・神戸インド総領事
ニキレーシュ・ギリ 氏


在大阪オーストラリア総領事
トレバー・ホロウェイ 氏


中華人民共和国駐大阪総領事
セツ・ケン 氏



在京都フランス総領事
サンドリン・ムシェ 氏



２０２５年日本国際博覧会
テーマ事業プロデューサー　宮田 裕章 氏



(公社)２０２５年日本国際博覧会協会理事
副事務総長　髙科 淳 氏



政府代表 特命全権大使(関西担当)
姫野 勉 氏



京都市長　門川 大作 氏



２０２５年日本国際博覧会
催事企画プロデューサー　小橋 賢児 氏



閉会のご挨拶　世界文化遺産 京都 醍醐寺
執行長　壁瀬 宥雅 氏



モデレーター▶(株)三菱総合研究所
執行役員 営業本部長　高橋 朋幸 氏











「第１回日本国際芸術祭」のメイン企画として、10月４日（水）にメイン会場である世界文化遺産 京都 醍醐寺 霊宝館にて、「日本国際芸術祭サミット」をリアル参加形式にて開催致しました。終了後は交流会にて、ご登壇者の皆様と名刺交換や交流をしていただきました。



＜日程＞　10月4日（水）13：00～16：50
（交流会 16：50～17：20）
＜主催＞　一般社団法人夢洲新産業・都市創造機構
＜形式＞　リアル参加形式
＜会場＞　世界文化遺産 京都 醍醐寺 霊宝館

＜開催趣旨＞ 各界を代表する御登壇者様から、2025年日本国際博覧会に向けて、アート・デザイン・サイエンス・テクノロジー・経済の共創についてお話し頂き、関西全体で産学公が全力を挙げて取り組むと共に、各地域との連携により広く全国に展開することで、科学技術と文化芸術と経済産業がシナジーを発揮し、日本から世界に向けていのち輝く未来社会を拓く共創の輪が拓がっていけば幸いです。


経済産業省 近畿経済産業局長
信谷 和重 氏


阪急阪神ホールディングス(株) 代表取締役会長
グループCEO　角 和夫 氏


文化庁長官　都倉 俊一 氏


京都市長　門川 大作 氏


大阪・関西万博催事検討会議 共同座長
大崎 洋 氏


(公社)２０２５年日本国際博覧会協会理事
副事務総長　髙科 淳 氏


〈ビデオメッセージ〉２０２５年日本国際博覧会
テーマ事業プロデューサー　石黒 浩 氏

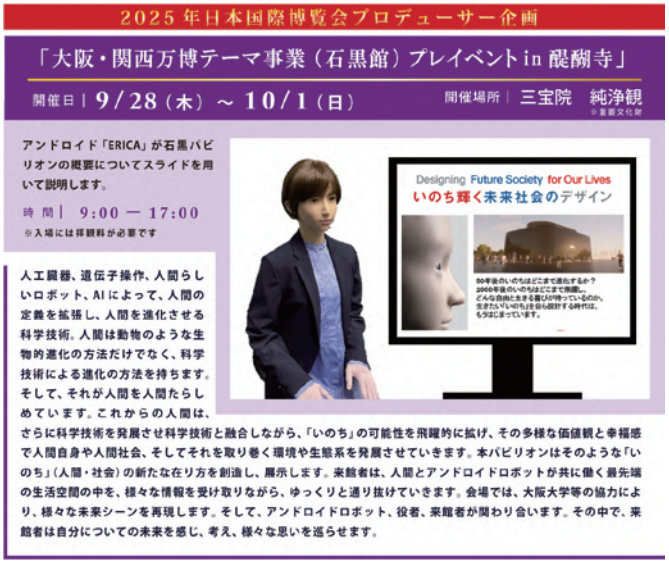

モデレーター▶ボストン・コンサルティング・グループ
日本共同代表　内田 有希昌 氏



【大阪・関西万博テーマ事業（石黒館）プレイベントin醍醐寺】　石黒 浩 氏

＜日程＞　9月28日（木）～10月1日（日）9:00～17:00
＜会場＞　世界文化遺産 京都 醍醐寺 三宝院 純浄観 ※重要文化財

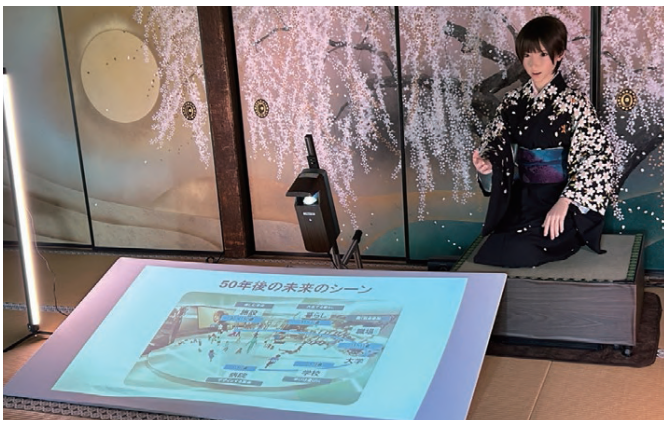
大阪・関西万博テーマ事業プロデューサーである石黒浩氏により、石黒氏制作のアンドロイド「ERICA」から大阪・関西万博石黒パビリオンの概要について説明するイベントが行われました。イベント開催日前日には記者発表会が行われ、石黒氏ご本人にもご登場いただきました。













※写真は記者発表会より

【 五感の遊び場　醍醐寺クラゲFestival ～全ての人は芸術家である～ 】　中島 さち子 氏

＜ 日程 ＞　10月1日（日）アサラト 13：00～15：00/チャンゴ 13：30～15：00/鼻笛 13：00～15：00
＜ 会場 ＞　世界文化遺産 京都 醍醐寺 憲深林苑

大阪・関西万博テーマ事業プロデューサーである中島さち子氏により、五感や「創る」を通じて本物に触れ、「創る」歓びを体感し、世界の多様な価値観や文化・視点のあり方に出会うワークショップが開催されました。

1）楽器制作ワークショップ（＋クラゲWS）：楽器を創る・遊ぶ
2）野点の茶室におけるお茶会（掬水会）：お茶を楽しむ
3）16時半よりInclusive音楽 LIVE＋"祭り"：音楽・祭りを創る・遊ぶ









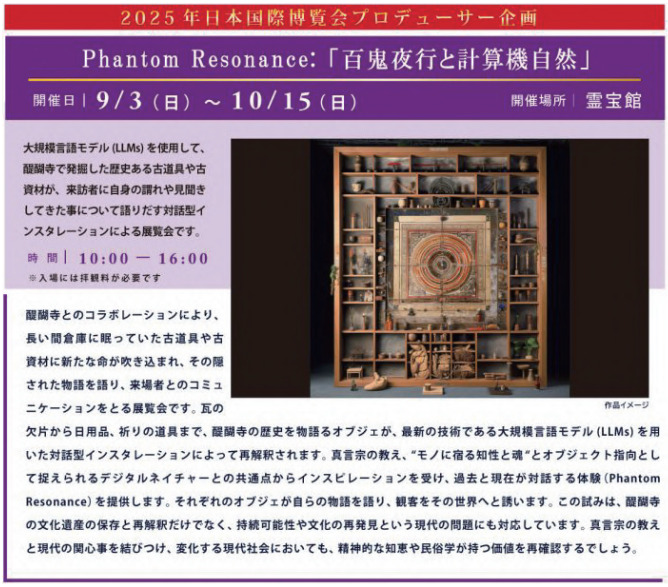




【 Phantom Resonance:「百鬼夜行と計算機自然」】　落合 陽一 氏

< 日程 >　9月3日（日）～10月15日（日）10：00～16：00
< 会場 >　世界文化遺産 京都 醍醐寺 霊宝館
< 協賛 >　株式会社サザコーヒー

大阪・関西万博テーマ事業プロデューサーである落合陽一氏により、規模言語モデル(LLMs)を使用した対話型インスタレーションによる展覧会が行われました。醍醐寺で発掘された歴史ある古道具や古資材を用いて、真言宗の教え“モノに宿る知性と魂“とオブジェクト指向として捉えられるデジタルネイチャーから、過去と現在が対話する体験（Phantom Resonance）が提供されました。













【 残 照 】 宮田 裕章 氏 / EiM

< 日程 > 9月22日（金）～10月7日（土）10:00～16:00
< 会場 > 世界文化遺産 京都 醍醐寺 霊宝館

大阪・関西万博テーマ事業プロデューサーである宮田裕章氏が結成するクリエイティブチーム「EiM」により、いのちが生まれ散っていく生命のサイクルを、様々な時間軸の中で表現した空間展示が行われました。作品は生命の終わりと再生の始まりという二面性を持ち、生と死、繁栄と衰退、明と暗といったコントラストを私たちの人生や世界の移ろいに重ね、一瞬にして変わる美しさと新たな再生への道を示しています。











非公開国宝や重要文化財公開と特別体験 ～お茶体験～

＜日程＞　9月23日（土・祝）10:00～11:30 / 14:00～15:30
＜会場＞　世界文化遺産 京都 醍醐寺 白書院 ※重要文化財



醍醐寺様により、非公開エリアである三宝院の白書院（重要文化財）で、僧侶の話を聞きながら仏道や茶道から日常生活でも役立つ作法等を体験できる、お茶体験のプログラムが実施されました。

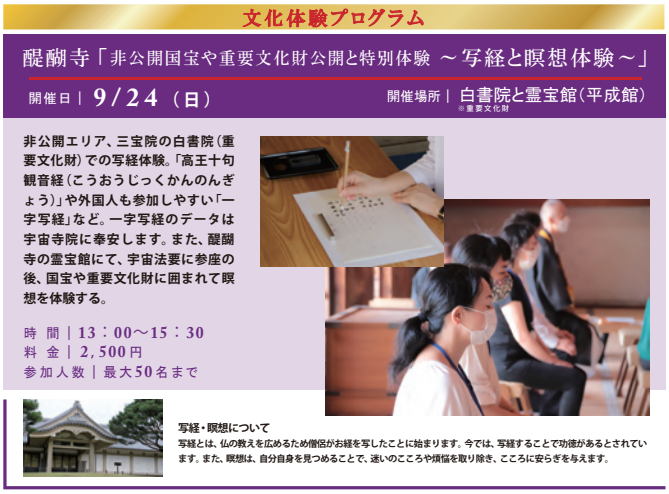
茶道や日本の文化に根付いている人へのおもてなしの心は、日頃生活する上での礼儀作法にも繋がります。神仏に茶や菓子を供える儀礼としても平安の時代より行われ、その時々の文化が伝承されています。





非公開国宝や重要文化財公開と特別体験 ～写経と瞑想体験～

＜日程＞　9月24日（日）13:00～15:30
＜会場＞　世界文化遺産 京都 醍醐寺 白書院 ※重要文化財・霊宝館（平成館）



醍醐寺様により、非公開エリアである三宝院の白書院（重要文化財）で、「高王十句観音経」や外国人も参加しやすい「一字写経」等の写経体験が実施され、一字写経データは宇宙寺院に奉安されました。また、霊宝館にて宇宙法要に参座の後、国宝や重要文化財に囲まれての瞑想体験が実施されました。

写経とは、仏の教えを広めるため僧侶がお経を写したことに始まり、今では功徳があるとされています。
また、瞑想は自分自身を見つめることで、迷いの心や煩悩を取り除き、心に安らぎを与えます。





非公開国宝や重要文化財公開と特別体験 ～護摩参座～

＜日程＞　10月15日（日）14:00～15:00
＜会場＞　世界文化遺産 京都 醍醐寺 不動堂・護摩道場（醍醐寺伽藍）



醍醐寺様により、史跡醍醐寺内にある不動堂護摩道場に於いて、人々の心へ安心を祈る柴灯護摩（さいとうごま）への参座が実施されました。

護摩祈願について
「護摩」は、諸々の願いの成就を祈る真言密教の秘法です。中でも柴燈護摩（さいとうごま）は屋外で行う大規模な護摩法要のことで、修験道の秘法でもあります。僧侶や修験者の読経のなか護摩が焚かれます。









いのちの共創 醍醐寺展 ／（一社）夢洲新産業・都市創造機構

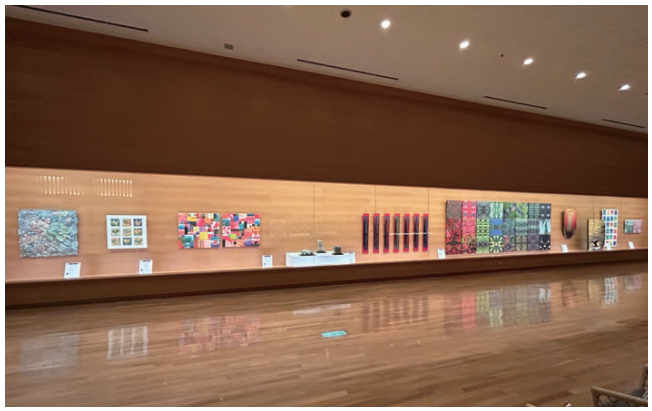
＜日程＞　9月1日（金）～10月8日（日）10：00～16：00
＜会場＞　世界文化遺産 京都 醍醐寺 霊宝館



様々な技法を用い、独自の世界を表現する10人のアーティスト達による「いのち共創」展覧会を開催致しました。

参加アーティスト(五十音順)

雨山 智子 氏「Circle Ⅰ.Ⅱ」
草間 喆雄 氏「HOKO」
倉内 啓 氏「花の宴」（二曲型絵染屏風「輪櫻」他５点）
佐伯 和子 氏「布から紙へ」
半谷 学 氏「華曼荼羅 flower mandala」
藤原 郁三 氏「陶彫邪鬼三部作」
村田 好謙 氏「光に包まれて」
八幡 はるみ 氏「GARDEN202309」他４点
山口 和加子 氏「森のオブジェ」
吉田 淳子 氏「波のかたち Wave Shape」







「Circle Ⅰ.Ⅱ」雨山 智子 氏



「HOKO」草間 喆雄 氏



「花の宴」（二曲型絵染屏風「輪櫻」他5点）倉内 啓 氏



「布から紙へ」佐伯 和子 氏



「華曼荼羅 flower mandala」半谷 学 氏



「陶彫邪鬼三部作」藤原 郁三 氏



「光に包まれて」村田 好謙 氏



「GARDEN202309」他4点 八幡 はるみ 氏



「森のオブジェ」山口 和加子 氏



「波のかたち Wave Shape」吉田 淳子 氏

ひろしま安芸高田神楽　／　安芸高田神楽協議会（広島県安芸高田市）

＜日程＞　9月2日（土）14：00～16：00
＜会場＞　世界文化遺産 京都 醍醐寺 霊宝館

「ひろしま安芸高田神楽」は、太鼓や笛などのお囃子と一緒に華やかな衣装や表情豊かな神楽面をつけた人たちが、ある物語を題材にして舞う神楽です。きわめて演劇性が高く、スピード感にあふれた勇壮な奏楽、豪華絢爛な衣装、分かりやすいストーリーで構成されています。現在も広島県安芸高田市で22の神楽団により継承されており、安芸高田神楽協議会によって「ひろしま安芸高田神楽」が上演されました。







日本酒フェア　／　（一社）おらがまち

＜日程＞　9月30日（土）11：00～16：00　10月1日（日）10：00～15：00
＜会場＞　世界文化遺産 京都 醍醐寺 雨月茶屋前

（一社）おらがまち と たる出版（株）により、「日本酒フェア」が開催されました。全国の武将が地元の酒を醍醐寺に持ち込んで花見の宴をしたという故事に倣い、各蔵元が特設ブースにて自慢の逸品を販売致しました。





▲たる出版「月刊たる」2023年9月号に広告を掲載いただきました。



いのちの能「慈愛～魂のゆくえ Tradition for a better future」／（公財）山本能楽堂

＜日程＞　9月4日（月）14：00～15：30
＜会場＞　世界文化遺産 京都 醍醐寺 霊宝館

（公財）山本能楽堂により、醍醐寺で伝えられてきた修験道ならではの力強い声明と共に新作能が上演され、終演後には醍醐寺塔頭菩提寺住職・仲田順英氏と観世流能楽師・山本章弘氏による対談「いのちについて」が行われました。醍醐寺は能楽を大成した観阿弥・世阿弥父子が 7 日間の能の公演を行い、世阿弥が清滝宮の楽頭職をつとめ、能のパトロンとしても知られる秀吉も花見を行うなど、能との所縁がとても深い場所です。コロナ禍において能が現代社会のために何ができるのか、魂の救済としての能の果たすべき役割について再考察され、新しい能楽を未来に向けて発信されました。







みんなちがってみんないい！アート＆ミュージックワークショップ／（株）フェリシモ×（株）ソニー・ミュージックエンタテインメント

＜日程＞　9月16日（土）10：00／13：00
＜会場＞　世界文化遺産 京都 醍醐寺 霊宝館

（株）フェリシモによる「脳を活性化する自由に絵を描くアートプログラム『リンビーアート』」と、（株）ソニー・ミュージックエンタテインメントによる「誰にでも演奏できすぐに合奏できる『ゆる楽器』の演奏」がコラボレーションし、誰もが自分らしい表現と多様性を楽しめるアートワークショップが開催されました。

Sony Music YURU MUSIC
×
Rin-b! FELISSIMO
アートのハッピーをすべての人へ。





イマーシブの祈り～太閤秀吉が見た醍醐の景色　／　フォレストデジタル（株）

＜日程＞　9月16日（土）～9月24日（日）10：00～17：00
＜会場＞　世界文化遺産 京都 醍醐寺 三宝院 純浄観 ※重要文化財

フォレストデジタル（株）の空間型VRサービスuralaa（うらら）の没入体験によるイベントが行われました。醍醐の花見に縁のある純浄観で太閤秀吉が見た醍醐寺の景色が再現され、360° 祈りの空間が実現されました。

（テーマ）時空を超えて、醍醐の地で自他を見つめる。
「祈り」とは、自分自身と会話をすること。木々や森、自然、私達の身の回りにあるものと対話をすること。対話を通じて、自分自身の心と向き合う、そして愛する方や、感謝をする方への想いを認識することができます。
三宝院庭園や上醍醐の自然、醍醐の桜など、通常の拝観では見られない視点での景色に包まれ、時空を超えて、400年前に太閤秀吉が見たであろう木々や自然の中で、自分自身の心を見つめてください。醍醐の歴史と美、そしてテクノロジーとの共創により、他の命の存在、人への想いを大切にすることを感じて頂ければと思います。





Commons garden 新たな時代の新たな表現　／　梅野 星歩 氏

＜日程＞　9月1日（金）～10月15日（日）9：00～17：00
＜会場＞　世界文化遺産 京都 醍醐寺 伽藍

京都を拠点に活動する空間アーティスト・梅野星歩氏が、社会の課題と希望をナラティブに表現し、「人と自然環境」「人と科学技術」「人と命」など様々な境界を共有共感するソリューションアートを創り出し、その空間アートの展示が行われました。

この作品は自然素材を通じ、身体・記憶・感情という人間の根源を再認識する空間です。石というマテリアルは磐座のようなご神体や藤戸石のように命が宿され、記憶装置として生き続けます。2023 年 5 月に広島で行われた G7 特別会場でも使用した花崗岩は 1 億年前の大地変動の証であり、4000 年前の長崎産硬質砂岩は地球誕生から被爆までの歴史を見届けた軌跡でもあります。また、プラスチックオーシャンを用いて、手を合わせられる場所や仕組みである作品を創り出しました。





2023 年チェルシーフラワーショーゴールドメダル獲得記念展示　／　石原 和幸 氏

< 日程 >　9月30日（土）～10月8日（日）10：00～16：00
< 会場 >　世界文化遺産 京都 醍醐寺 霊宝館

景観アーティスト、庭園デザイナーである石原和幸氏が、石原氏の所有する風景盆栽の展示を行い、日本の庭園文化を発信すると共に、チェルシーフラワーショーや過去の国際ガーデンコンテスト、イギリスの庭園文化の歴史や王室との繋がり等のパネル展示も行いました。

霊宝館前スペース：石原和幸氏の所有する風景盆栽の展示。
霊宝館内：２０２３年チェルシーフラワーショーの記録、過去の国際ガーデンコンテストにおける記録のパネル展示。
日本の庭園文化の歴史、イギリスの庭園文化の歴史のパネル展示。





地球オルガンプロジェクト：キツツキマシーン・水脈地脈　／　サキタ ハヂメ 氏

< 日程 >　9月23日（土・祝）～10月10日（火）9：00～17：00
< 会場 >　世界文化遺産 京都 醍醐寺 無量寿苑・霊宝館

アーティスト・サキタハヂメ氏により、「桜の木たちが外来カミキリムシたちの侵略に恐々とする声」と「醍醐水の地下水脈の環境の変化」の二つをテーマに、地球オルガン［キツツキマシーン vs 外来害虫たち］［水脈地脈～切り株インターフェース］サウンドアートの展開、展示が行われました。

世界中いつもどこにでもあるのに、普段聴こえていないようなサウンドたちを中心に集め、それらをネットワークで繋ぎ、重ねる。人間の可聴域以外で起こっているらしいこと、こちらが鳴らすと反応、響き合い、反発、ジェラード、拒否、歓迎、同調などで呼応するサウンドシステムを模索、実験、検証。人間の思惑を超えた音、振動の領域との「共鳴」そのものを奏でる楽器『地球オルガン』を制作するプロジェクトです。地球まるごと一つ鳴らしたい。『地球オルガン』を目指して。





過去現在未来図屏風 ～現代アート × 屏風～・明るい未来の守り神 ／ 玄 (GEN) 氏

＜日程＞　9月1日（金）～10月8日（日）10：00～16：00
＜会場＞　世界文化遺産 京都 醍醐寺 霊宝館

「アートで世界を変える」を理念に掲げる画家・玄氏によるアート作品を展示致しました。日本元来のSDGs精神「もったいない」を再生し、六曲一双の屏風に廃材を使用した画材を用いて未来の世界を描いた作品です。9/9（土）・9/10（日）には「明るい未来の守り神」を描くライブペイントが行われました。



ライブペイントの様子▶



いのちをはぐくむアート展　／　（一社）夢洲新産業・都市創造機構

＜日程＞　9月22日（金）～9月28日（木）9：00～17：00
＜会場＞　世界文化遺産 京都 醍醐寺 修証殿

書道家・永山 玳潤 氏、妖怪書家 / 書家・逢香氏、（株）アッシュ、NFT クリエイターズフェスギャラリー、榎本 響 氏、Genky 氏にご参加いただき、アート展を開催致しました。







「龍」ほか　永山 玳潤 氏



「命づくし」　逢香 氏



LITUP JAPAN / 株式会社アッシュ



NFT クリエイターズフェスギャラリー



「南総里見八犬伝～参集！五重塔～」榎本 響 氏



奇 世 界「愛 染」Genky 氏

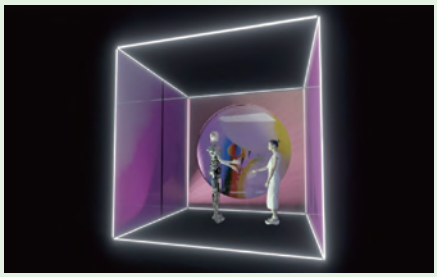
SHOSA:Future Dialogue ATR+KiQ ／ ATR（株）国際電気通信基礎技術研究所

＜日程＞　10月5日（木）～10月8日（日）10：00～17：00
＜会場＞　ATR（京都府相楽郡精華町光台二丁目２番地２）

大阪・関西万博テーマ事業プロデューサーの石黒浩氏が特別研究所客員所長を務めるATRで、参加特別企画としてインスタレーションイベントが開催されました。

「所作」とは、日本の文化において培われた、身体と心を結びつけ、相手と自分を調和させるための暗黙のコミュニケーションです。私たちは、この「所作」を現代において進化させ、相手や環境との関わりの中で、豊かな心の表現を生み出すことを目指しています。この進化した「所作」を「SHOSA」と呼びます。「SHOSA」は、人間だけでなく、ロボットなどあらゆる「いのち」との関わりの中で、多様で豊かな心を表現します。本インスタレーションでは、来場者やアンドロイドアバターの動きに応じて、そこに現れる「SHOSA」を、連続的に変化する音や光で表現します。この「SHOSA」を獲得する能力は「身体知」と呼びます。来場者は、本インスタレーションを体験することで、自らの「身体知」を発展させます。
来場者は、アンドロイドアバターと体の動きを通した対話の中で、自らの「身体知」を発展させ、「SHOSA」を獲得し、自らを進化させるのです。





ATR Advanced Telecommunications Research Institute International
【ＨＰ】https://www.atr.jp/about/faq.html

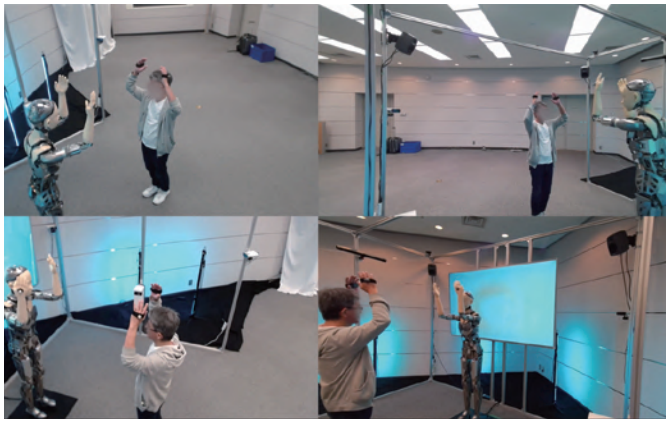
菊地あかね　(KIQ)
エクスペリエンスデザイン＆総合ディレクター

石黒浩（大阪大学＆ATR）
ロボット監修

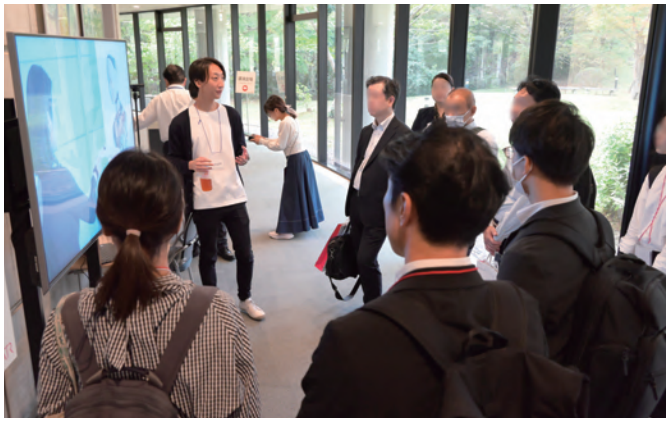
メインシステムクリエイター	船山智（ATR）
サウンドデザイン	佐久間海土
視覚表現デザイン	堀部和也（大阪大学）
ロボットシステム開発	港隆史（理研＆ATR）
	三方瑠祐（ATR）
	境くりま（ATR）
デザイン	三沢千優（KIQ）
	森健哉（KIQ）

＊本プロジェクトは、ムーンショットプロジェクト目標１「誰もが自在に活躍できるアバター共生社会の実現」の一部として取り組んでいます。









OKASHI EXPO JAPAN「シン・NIPPONのお菓子」／（一社）夢洲新産業・都市創造機構

＜日程＞　9月20日（水）～9月25日（月）10：00～20：00
＜会場＞　阪急うめだ本店 9階催場（大阪市北区角田町8番7号）

往古来今より個人・社会生活の様々な場面で幸せを与えてくれ、人を笑顔にし、力を与え、他者とつながり、未来へつなぐ力を持っているお菓子「OKASHI」。そのお菓子の持つ力を活用し、2025年日本国際博覧会(略称大阪・関西万博) の機運醸成に貢献し、大阪・関西万博が目指す「いのち輝く未来社会のデザイン」とSDGs達成への貢献、地域経済の活性化、豊かな日本文化の発信の一助となるべく、第1回日本国際芸術祭の参加企画として「OKASHI EXPO JAPAN」を開催致しました。

【参加お菓子会社（日本青年会議所菓子部会）】
なごみの米屋 / 落雁諸江屋 / 菊家 / 春華堂 / 創菓 嘉永餅 / 東京ラスク / 岡山夢菓匠敷島堂 / 青木松風庵 / 讃岐三白 / りくろーおじさんの店







洛宙KANSEIアート展京都プレイベント「洛宙特別対談」／洛宙アート展実行委員会

＜日程＞　10月7日（土）12：45～14：15
＜会場＞　御寺泉涌寺（京都市東山区泉涌寺山内町）

世代やジャンルを超えたアーティストの方々が日本の歴史ある建築空間に個性あふれる作品を展示し、新たなる表現で日本の伝統美を京都から世界に発信する「洛宙ＫＡＮＳＥＩアート展京都」。その本展に先駆けて、洛宙展キュレーターと出展作家、泉涌寺様を交えての特別対談が、洛宙アート展実行委員会により実施されました。また、特別対談後には当日泉涌寺の舎利殿（通常非公開）で「舎利会宿忌法要」が執り行われました。



「次世代リーダー育成事業 事業企画スペシャリスト養成講座 2023 第1回」



		講師
1日目	10月13日（金）	塾長 石川　勝 氏
2日目	10月25日（水）	小橋 賢児 氏
3日目	11月 2日（木）	小川 理子 氏
4日目	11月 9日（木）	宮田 裕章 氏
5日目	11月14日（火）	澤田 拓子 氏

10 / 13（金）※要申込

開催場所｜**世界文化遺産 京都 醍醐寺**
（2023年10月～11月に全 5 回開催）

持続可能性への意識の高まり、多様性やガバナンスなど新たな社会規範の登場、戦後の平和を支え続けた国際レジームの綻びなど、いま社会のパラダイムが大きく変化しはじめています。こうした中で新たな未来を切り拓いていくためには、過去に学び未来を予測する思考力と、他者に共感を与え行動を促す表現力を備えた「企画力」が重要となります。事業企画のスペシャリストとして社会を動かすことのできる若手人材を育成するために、昨秋開講した次世代リーダー育成事業「事業企画スペシャリスト養成講座2022」に続き、「事業企画スペシャリスト養成講座 2023」を開講致します。

一般社団法人
夢洲新産業・都市創造機構

https://yumeshimakikou.org/seminar/arts-for-beyond-sdgs-kansai-03/

お問い合わせ｜
（一社）夢洲新産業・都市創造機構 事務局

E-mail:
info@yumeshimakikou.com
TEL:06-6136-8803

文化庁移転記念・琵琶湖疏水記念館特別展
「フィールドミュージアム琵琶湖疏水 鴨川運河の誕生～京都・伏見をつないだ水の路」



琵琶湖疏水にまつわるいろんな疑問を解決できる博物館、それが琵琶湖疏水記念館です！蹴上インクライン上を船を載せた台車が行き来していた様子が分かるミニチュア模型のほか、蹴上・岡崎エリアのジオラマやアーカイブ映像の視聴コーナーなどもあります。
南禅寺水路閣や蹴上インクラインにお越しの際など、是非お気軽にお立ち寄りください！

6/20（火）～12/24（日）

休館日｜月曜日（祝日の場合は開館、翌平日が休館）

開催場所｜**琵琶湖疏水記念館**

開館時間｜9:00～17:00（最終入館 16:30）

沿線全体をフィールドミュージアムとして位置付ける琵琶湖疏水。鴨川運河は第1疏水のうち、鴨東運河の鴨川合流点から伏見区堀詰町までの全長約9 km の運河です。大津から大阪までの舟運を開通するうえで、疏水を淀川に接続するための重要な区間でした。
本特別展では、「鴨川運河」の誕生から現在までの歴史を、貴重な資料とともにご紹介します。

琵琶湖疏水記念館
LAKE BIWA CANAL MUSEUM

京都市左京区南禅寺草川町17
TEL:075-752-2530
https://biwakososui-museum.city.kyoto.lg.jp/

入館料｜無料

※館外の工事を行っておりますが、開館しておりますので是非ご来館ください。

■ アクセス
地下鉄東西線「蹴上」下車
徒歩 7 分
市バス 5 系統「岡崎法勝寺町」下車
徒歩 4 分

「田中一光ポスター展　舞台と文字ののぞき穴から」



本館は、京都工芸繊維大学学内共同利用の教育研究施設として 1980 年に設立されました。翌 81 年 6 月に建物が竣工し、同年 10 月 3 日に開館し、展示を行う一方、逐次収蔵品を受け入れ、本格的な整理・調査が開始されました。本館の所蔵する美術工芸資料は、本学の前身の一つである京都高等工芸学校の創立以来の収集品が基盤となっています。

7 / 3（月）～9 / 9（土）

休館日｜日曜日・祝日（ただし 8 月 11 日（金）は開館）
8 月 12 日（土）～ 17 日（木）

開催場所｜**京都工芸繊維大学 美術工芸資料館**

開館時間｜10:00～17:00
（最終入館 16:30）

戦後日本を代表するグラフィックデザイナーである田中一光の仕事を、学生が選んだ代表的なポスター約 60 点を並べることで紹介します。
田中が生涯に渡って手がけ続けた舞台公演のポスターから彼のデザインスタイルを浮かび上がらせ、さらにそこから田中の独創的な文字使いへと切り込んでいこうとする企画になっています。

京都工芸繊維大学
美術工芸資料館
MUSEUM AND ARCHIVES

京都市左京区松ヶ崎橋上町
1番地
TEL:075-724-7924
https://www.museum.kit.ac.jp/

一般：200 円
大学生：150 円
高校生以下：無料

※大学コンソーシアム京都に加盟する大学の学生は学生証の提示により無料で入場できます。
※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、戦傷病者手帳または被爆者健康手帳をお持ちの方及び付添の方 1 名は無料（入館の際は、手帳またはミライロ ID の提示をお願いします）

「おこしやす、古墳時代へ」



京都市考古資料館は、京都市内で実施される遺跡の発掘調査の成果と得られた出土品を展示・公開する施設として、1979 年に開設しました。多種多様な展示品を通じて、京都の歴史や過去に暮らした人々の生活・文化にふれ、また、地下に埋もれた文化遺産を、未来に長く伝え、その価値を考える場として活用していただくことを願っています。

7/8(土)～11/19(日)

休館日｜月曜日（祝日の場合は開館、翌平日が休館）

開催場所｜**京都市考古資料館 1 階**

開館時間｜9:00～17:00（最終入館 16:30）

およそ３世紀から７世紀にかけて、日本列島の各地で、巨大な前方後円墳をはじめとする古墳が多数築造された古墳時代。この時代の京都の様子はどうだったでしょうか。この展示では、発掘調査で得られた出土品や遺跡の写真パネル等を通じて、古墳時代の京都に暮らした人々の生活の変化、生産活動、戦争、祭祀や墓制、渡来文化の痕跡等をご紹介します。

京都市考古資料館

京都市上京区今出川通
大宮東入元伊佐町
265番地の1
TEL:075-432-3245
https://www.kyoto-arc.or.jp/museum/

入場料｜無料

■ アクセス
JR 京都駅・地下鉄二条城前駅から市バス９系統→『堀川今出川』停留所下車　西へ２分
地下鉄今出川駅 / 京阪三条駅
京阪出町柳駅 / 阪急大宮駅
JR・地下鉄二条駅
→市バス『今出川大宮』停留所
考古資料館前下車すぐ

「ふぁん・ファン・FUN ～扇子いいね」



飛鳥時代に中国より伝来した「団扇（うちわ）」。涼をとるほか虫や悪気を払う道具として使われてきました。一方、平安時代に団扇を畳んで持ち運べるように改良してつくられたのが「扇子（せんす）」。後に神事の道具や貴族階級の装身具となり、茶道や舞に用いる小道具としても重宝されてきました。それらの扇には美しい絵が描かれ、人々の目を楽しませました。

7/14(金)～10/9(月)

休館日｜8/29（火）

開催場所｜**嵯峨嵐山文華館**

開館時間｜10:00～17:00
（最終入館 16:30）

京扇子の老舗「白竹堂」ご協力のもと、近世から現代にかけてつくられた様々な扇や、扇・団扇が描かれた日本画や、有名棋士が揮毫したりミュージシャンが絵筆を走らせたりした扇子の数々を展示します。扇子の制作工程も併せてご紹介します。

嵯峨嵐山文華館
Saga Arashiyama Museum of Arts and Culture

京都市右京区嵯峨天龍寺
芒ノ馬場町 11
TEL:075-882-1111
https://www.samac.jp/

一般・大学生：1,000（900）円
高　校　生：600（500）円
小 中 学 生：400（350）円
障がい者と介添人１名まで：各 600（500）円
※（）内は 20 名以上の団体料金※幼児無料

●福田美術館両館共通券
一般・大学生：2,300 円
高　校　生：1,300 円
小 中 学 生：750 円
障がい者と介添人１名まで：1,300 円

「竹久夢二のすべて　～画家は詩人でデザイナー」



竹久 夢二（たけひさ ゆめじ）
1884 年 -1934 年
大正ロマンを代表する画家で、一世を風靡した美人画は「夢二式美人」と呼ばれた。小説の挿絵、楽譜の表紙デザイン、本の装丁や俳句・作詞にいたるまで、多彩な才能を発揮したクリエーター。

7/14(金)～10/9(月)

休館日｜8/29（火）

開催場所｜**福田美術館**

開館時間｜10:00～17:00
（最終入館 16:30）

2024 年に生誕 140 年、没後 90 年を迎える画家、竹久夢二の回顧展です。
関西でコレクションがまとまって公開されるのは約 30 年ぶり。夢二ファンはもちろん、老若男女を問わずお楽しみいただけます。
※ MBS テレビ、京都新聞との共催となります。

福田美術館
FUKUDA ART MUSEUM SAGA ARASHIYAMA

京都市右京区嵯峨天龍寺
芒ノ馬場町 3-16
TEL:075-863-0606
https://fukuda-art-museum.jp/

一般・大学生：1,500（1,400）円
高　校　生：900（800）円
小 中 学 生：500（400）円
障がい者と介添人１名まで：各 900（800）円
※（）内は 20 名以上の団体料金※幼児無料

●嵯峨嵐山文華館両館共通券
一般・大学生：2,300 円
高　校　生：1,300 円
小 中 学 生：750 円
障がい者と介添人１名まで：1,300 円

「西陣織でつむぐゴッホと浮世絵」



今から1,500年以上前。華やかな宮廷文化に端を発し、京の都には「日本の美意識の原点」が生まれました。自然をいつくしみ、繊細さを愛おしむ、独特の価値観。仏教、武家、町民文化の影響を受けながら、その輝きはさらに洗練を極めていきます。
西陣織のなかでも最高の織技術である、1800口織ジャガードを駆使した作品を展示しています。

7/27(木)～12/24(日)

休館日｜月曜日（祝日の場合は翌火曜日）
お盆期間（8月中旬）

開催場所｜**西陣織あさぎ美術館**

開館時間｜10:00～17:00
（最終入館 16:30）

今なお世界中の人々を魅了し続ける、ポスト印象派の画家、フィンセント・ファン・ゴッホのチューブから絞り出したような、特徴的なペイントタッチを西陣織で表現しております。併せてゴッホが憧れ、模写までした浮世絵の作品も西陣織で表現しております。

四条烏丸 西陣織あさぎ美術館 NISHIJIN ASAGI MUSEUM

京都市下京区烏丸通仏光寺上ル661 ツカキスクエア
TEL:075-353-5746
https://asagi-museum.jp/

一般：500（400）円
高校生・大学生：400（300）円
中学生以下：無料

※大学生以下の方は年齢のわかるものをご提示ください。
※（）内は20名以上の団体料金。
※入館料は現金のみのお取り扱いとなります。
※障がい者と同伴者1名さまは、入館料を半額とさせていただきます。

「麗しのリバティ ― 花柄パターンの魅力」



本館は、京都工芸繊維大学学内共同利用の教育研究施設として1980年に設立されました。翌81年6月に建物が竣工し、同年10月3日に開館し、展示を行う一方、逐次収蔵品を受け入れ、本格的な整理・調査が開始されました。本館の所蔵する美術工芸資料は、本学の前身の一つである京都高等工芸学校の創立以来の収集品が基盤となっています。

8/7（月）～9/9（土）

休館日｜日曜日
8月12日（土）～17日（木）

開催場所｜**京都工芸繊維大学 美術工芸資料館**

開館時間｜10:00～17:00
（最終入館 16:30）

20C初、京都高等工芸学校の教材として収集された様々な西洋の生地サンプルのなかから、ロンドンのリバティ社による優美な花柄パターンを中心に、イギリスのファブリックデザインの一端を紹介する。

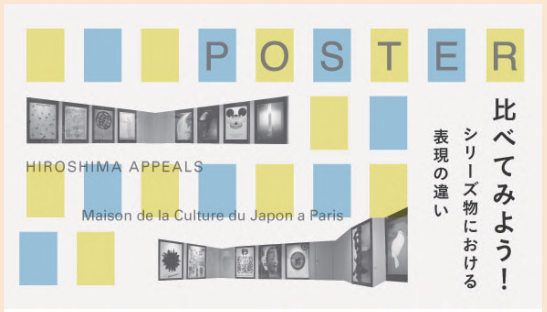
京都工芸繊維大学 美術工芸資料館 MUSEUM AND ARCHIVES

京都市左京区松ヶ崎橋上町1番地
TEL:075-724-7924
https://www.museum.kit.ac.jp/

一般：200円
大学生：150円
高校生以下：無料

※大学コンソーシアム京都に加盟する大学の学生は学生証の提示により無料で入場できます。
※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、戦傷病者手帳または被爆者健康手帳をお持ちの方及び付添の方1名は無料（入館の際は、手帳またはミライロIDの提示をお願いします）

「比べてみよう！ ― シリーズ物における表現の違い」



本館は、京都工芸繊維大学学内共同利用の教育研究施設として1980年に設立されました。翌81年6月に建物が竣工し、同年10月3日に開館し、展示を行う一方、逐次収蔵品を受け入れ、本格的な整理・調査が開始されました。本館の所蔵する美術工芸資料は、本学の前身の一つである京都高等工芸学校の創立以来の収集品が基盤となっています。

8/7（月）～9/9（土）

休館日｜日曜日
8/12（土）～17（木）

開催場所｜**京都工芸繊維大学 美術工芸資料館**

開館時間｜10:00～17:00
（最終入館 16:30）

美術工芸資料館所蔵のポスターから、ヒロシマアピールズ、パリ日本文化会館開館というふたつのシリーズをとりあげて、ひとつのテーマに対して複数のデザイナーがどのような表現をとるかを比較できるような展示。

京都工芸繊維大学 美術工芸資料館 MUSEUM AND ARCHIVES

京都市左京区松ヶ崎橋上町1番地
TEL:075-724-7924
https://www.museum.kit.ac.jp/

一般：200円
大学生：150円
高校生以下：無料

※大学コンソーシアム京都に加盟する大学の学生は学生証の提示により無料で入場できます。
※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、戦傷病者手帳または被爆者健康手帳をお持ちの方及び付添の方1名は無料（入館の際は、手帳またはミライロIDの提示をお願いします）

「河井武一・透・亮輝 三代展 ― 京都民窯の系譜 ―」



京都陶磁器会館は、清水焼の発祥の地・五条坂に位置する。伝統ある京焼・清水焼の発信基地として建てられ、より人々に近い立場で魅力を発信し続けている。1階は常設展示コーナー。伝統に磨かれた京都の名工の作品や、京都で活躍している若手陶芸家の感性豊かな新作を展示・販売。2階は企画展示コーナーで、定期的に作家の個展や企画展を行っている。

9/1(土)～9/13(水)

休館日｜毎週木曜日

開催場所｜**京都陶磁器会館 2Fギャラリー**

開館時間｜10:00～18:00(最終日は17:00まで)

河井武一は、叔父である河井寛次郎より薫陶を得て、京都・亀岡市に南丹窯を築き、その技を後世に継承してきました。二代目河井透は、父武一・大叔父寛次郎に師事、技術とその精神を独自の作風に落とし込み、三代目河井亮輝は、河井家が培ってきた技術と精神をもとに、幅広く作品を手掛け、現代の民藝作家として作陶を続けています。本展覧会では、代々継承し、新たに作り上げてきた河井家独自の「京焼民藝」の軌跡をご覧いただけます。ぜひご高覧ください。

The Kyoto Ceramic Art Association
Official Shop & Gallery
京都陶磁器会館
KYOTO CERAMIC CENTER

京都市東山区東大路五条上ル遊行前町583-1
TEL:075-541-1102
http://kyototoujikikaikan.or.jp/

入場料｜無料

■電車でのアクセス
JR東海道新幹線・東海道本線「京都駅」より市バス「五条坂」下車すぐ・京阪電車京都線「清水五条」駅下車　東へ徒歩約10分

■車でのアクセス
名神高速道路 京都東ICから京都・大阪方面へ。東山五条交差点を右折100m先。約6.6km 約11分

「泉屋ビエンナーレ2023 Re-sonation ひびきあう聲」



住友家15代当主春翠が収集した中国古代青銅器のコレクションを中心に設立された美術館。紀元前14世紀の祭祀用青銅器から紀元前後の鏡鑑までを揃え、世界でも有数の青銅器コレクションとして高く評価されている。現在は青銅器のほか住友家歴代当主が収集した書跡や絵画、茶道具、文房具など、国宝2件、重要文化財19件、重要美術品60件を含む約3,500件を所蔵し、季節にあわせ企画展で公開している。

9/9(土)～10/15(日)

休館日｜月曜日(9/18(月)、10/9(月)は開館)
9/19(火)、10/10(火)

開催場所｜**泉屋博古館**

開館時間｜10:00～17:00(最終入館16:30)

約3000年前の中国古代青銅器からインスピレーションを受け、新進気鋭の鋳金作家10名が新作を制作、おなじ展示会場内に陳列することで、時空を超えた対話を体験いただける刺激的な空間を演出いたします。はるか古代から連綿とつづく鋳金の技術はどこからきて、そしてどこへと向かっていくのか。ひびきあう聲と聲のなかから生まれる、鋳金芸術の最先端をお見逃しなく。
https://sen-oku.or.jp/program/2023_biennale/

泉屋博古館
SEN-OKU HAKUKOKAN MUSEUM

京都市左京区鹿ヶ谷下宮ノ前町24
TEL:075-771-6411
https://sen-oku.or.jp/kyoto/

一般：800円
高校生・大学生：600円
中学生以下：無料
※本展覧会の入場料で青銅器館もご覧いただけます。
※20名以上は団体割引 20%、障がい者手帳ご呈示の方は無料。

主催｜公益財団法人泉屋博古館
　　住友グループ各社、京都新聞
後援｜京都市、京都市教育委員会
　　京都市内博物館施設連絡協議会
　　公益社団法人京都市観光協会

「第27回京都の秋　音楽祭」



京都コンサートホールについて
京都コンサートホールは，「世界文化自由都市宣言」の理念のもと，平安建都1200年を記念して京都市が建設した音楽専用ホールです。1995年10月15日，パリ管弦楽団の演奏で，柿落としを行いました。設計者は，2019年に「建築界のノーベル賞」ともいわれる「プリツカー賞」を受賞した磯崎新氏です。

9/10(日)～11/26(日)

開催場所｜

京都コンサートホール

京都市と(公財)京都市音楽芸術文化振興財団との共催により、京都が世界に誇る「文化芸術都市」であることを国内外にアピールするため、国内外の著名な演奏家や、京都にゆかりのある演奏家たちが出演する多彩なラインナップの音楽祭「第27回京都の秋　音楽祭」を開催します。

京都コンサートホール
KYOTO CONCERT HALL

公益財団法人
京都市音楽芸術文化振興財団
京都コンサートホール
京都市左京区下鴨半木町1番地の26
TEL:075-711-2980
https://www.kyotoconcerthall.org/

■アクセス
京都市営地下鉄烏丸線
北山駅下車
1番または3番出口南へ徒歩5分

主催｜京都市
(公財)京都市音楽芸術文化振興財団

「第1回サキシマビブリオバトル」



ビブリオバトル公式ルール
①発表参加者が読んで面白いと思った本を持って集まる
②順番に１人５分間で本を紹介する
③それぞれの発表の後に参加者全員でその発表に関する質疑・ディスカッションを 2~3 分間行う
④全ての発表が終了した後に「どの本が一番読みたくなったか？」を基準とした投票を参加者全員が１人１票で行い、最多票を集めた本を ” チャンプ本 ” とする

9 / 14 (木)
開催場所｜**西尾レントオール R&D 国際交流センター A 棟 2F "N ラウンジ "**
(コスモスクエア駅から 2 番出口から南に徒歩約 5 分)
開催時間｜18:30~

ビブリオバトルは、誰でも開催できる本の紹介コミュニケーションゲームです。
「人を通して本を知る。本を通して人を知る」をキャッチコピーに全国に広がり、小中高校、大学、一般企業の研修・勉強会、図書館、書店、サークル、カフェ、家族の団欒などで、広く活用されています！ぜひご一緒に、ビブリオバトルをして仲間の縁を深めましょう！

NISHIO 西尾レントオール株式会社

大阪市住之江区南港北 1-12-75
お問合せ｜主催者 (西尾レントオール広報宣伝室)
kosen@nishio-rent.co.jp

入場料｜無料
対象｜
小学 4 年生以上のどなたでも
発表者募集人数｜
5~10 名 (受付は終了しています)
※聞きに来られるだけでも歓迎です (申込不要)

「陶工彩 ― 8 人の若手作家による今」



京都陶磁器会館は、清水焼の発祥の地・五条坂に位置する。伝統ある京焼・清水焼の発信基地として建てられ、より人々に近い立場で魅力を発信し続けている。1 階は常設展示コーナー。伝統に磨かれた京都の名工の作品や、京都で活躍している若手陶芸家の感性豊かな新作を展示・販売。2 階は企画展示コーナーで、定期的に作家の個展や企画展を行っている。

9 / 15(金) ~ 9 / 27(水)
休館日｜毎週木曜日
開催場所｜**京都陶磁器会館 2F ギャラリー**
開館時間｜10:00~18:00(最終日は17:00まで)

京都府立陶工高等技術専門校の図案科(現やきものデザイン科)にて学び、卒業してから早 6 年。私たちは京焼を学びましたが、現在制作している作品はその限りではありません。京都、兵庫、佐賀、愛知、石川など全国各地で培った技術が再び京都に集まります。同じ技術を学んだ者が各々のフィルターを通して自由な発想のもと生み出した新しい陶芸。ご覧いただけますと幸いです。
出展者 太田恵梨香 / 河本真詩 / 小山紫 / 進藤純子
杉本美沙 / 高比良和子 / 奈良知惠 / 森田愛子(猫舌屋)

The Kyoto Ceramic Art Association
Official Shop & Gallery
京都陶磁器会館
KYOTO CERAMIC CENTER

京都市東山区東大路五条上ル遊行前町 583-1
TEL:075-541-1102
http://kyototoujikikaikan.or.jp/

入場料｜無料
■ 電車でのアクセス
JR 東海道新幹線・東海道本線「京都駅」より市バス「五条坂」下車すぐ・京阪電車京都線「清水五条」駅下車　東へ徒歩約 10 分
■ 車でのアクセス
名神高速道路 京都東 IC から京都・大阪方面へ。東山五条交差点を右折 100m 先。約 6.6km 約 11 分

「第28回ムックとおしゃべりですぞ～-大阪・関西万博と SDGs-EXPO PLL Talks」



9 / 20 (水)
開催場所｜**YouTube** にて公開中

TEAM EXPO2025 プログラム共創パートナーの西尾レントオールが 2025 年日本国際博覧会協会と共催でお届けするオンライントークイベントです。

ゲスト｜竹内　達哉さん(なわてオクトーバーフェスト　実行委員長)
船﨑　知子さん(なわてオクトーバーフェスト　副実行委員長)
巻野　隆宏さん(株式会社タナベコンサルティンググループ
ストラテジー&ドメインコンサルティング事業部 エグゼクティブパートナー)
平原　陽子さん(株式会社タナベコンサルティンググループ　コーポレート戦略本部
経営企画部 マネジャー)

NISHIO 西尾レントオール株式会社

視聴 URL
https://youtu.be/y_A87ZdpGP4

主催｜
西尾レントオール株式会社
2025 年日本国際博覧会協会

「EXPO2025 に向けた海のSDGs会議」



【主宰団体（一部調整中）】
京都超 SDGs コンソーシアム
セイラーズ フォー ザ シー 日本支局
東京大学FSI-日本財団海洋プラスチックごみ対策プロジェクト
笹川平和財団 海洋政策研究所
京都里山 SDGs ラボ（ことす）運営協議会 ほか

9 / 23（土・祝）
開催場所｜
京都里山SDGsラボ「ことす」（オンライン配信有り）
京都市右京区京北周山町下寺田 11
元京北第一小内
開催時間｜11:15～16:50（部分参加も可）

海の課題を「食・ごみ・技術＆イノベーション」という側面から取り上げ、幅広いステークホルダーに参画頂き、解決を加速するための場を試行・創出します。2025 大阪・関西万博を契機に、飛躍することを目指し、そのキックオフの場にできればと考えています。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

京都超SDGs
コンソーシアム

【参加費】オンサイトのみ 3,000 円（京北ブルーシーフードランチを含む）
★ボランティアを兼ねて参加して下さる学生さんは、参加費無料にできます。申込フォーム最後のメッセージ欄にその旨をお書きください。
お申込みはこちら▶

「京都国際マンガ・アニメフェア 2023（京まふ）」



京都国際マンガ・アニメフェアは、出版社やテレビ局、映像メーカーなどが出展し、最新作の PR やグッズ販売、ステージイベントなどが開催されます。京都市内におけるクリエイター支援や、産業・観光振興、コンテンツ都市・京都としてのブランド向上にも繋がる、総合的な取組に成長しました。12 回目の本年は、文化庁移転記念事業として開催するとともに、大阪・関西万博を見据え、国内外への情報発信・ブランド向上にも取り組みます。

9 / 16（土）・9 / 17（日）
メイン会場｜
みやこめっせ／ロームシアター京都
9:00 ～ 17:00（17 日は 16:00 まで）

第2会場｜**京都国際マンガミュージアム**
10:30 ～ 19:30

サテライト会場｜
京都伝統産業ミュージアム
9:00 ～ 17:00（※17 日は 16:00 まで）
京伴祭 / 梅小路公園
9/16（土）13:00 開場 / 14:00 開演
18:45 終演（予定）

京まふ
京都国際マンガ・アニメフェア2023
KYOTO INTERNATIONAL MANGA ANIME FAIR

https://kyomaf.kyoto/
前売入場券発売中！
①前売券 1,600 円（税込）／各日
②当日券 2,000 円（税込）／各日
※小学生以下の方は無料
（要保護者同伴）
※当日券に限り、学生・障害者・外国籍の方は割引あり
（各日 要証明書）
③京まふファストパス
2,000 円（税込）/ 各日
抽選制、別途入場券が必要
④京都国際マンガミュージアム
共通入場券 2,400 円（税込）
⑤京伴祭共通入場券
10,000 円（税込）

「職人の道具展」



京都の伝統産業とその背景を紹介するミュージアムです。西陣織や京友禅などの染織品から京焼、清水焼、京漆器などの諸工芸品まで、バリエーション豊かな京都市の伝統産業 74 品目を一堂に展示。併設のミュージアムショップでは、京都の伝統産業の技術を生かした懐かしくも新しい品々を販売しています。

9/23（土・祝）～10/22（日）
休館日｜ホームページでご確認ください
開催場所｜
京都伝統産業ミュージアム
企画展示室
開館時間｜10:00~18:00（最終入館 17:30）

伝統工芸のものづくりの中にはたくさんの道具が存在します。そんな道具たちは、日々のものづくりの中で職人の五感を拡張させ、緻密で繊細な装飾技術や見るものの心を奪うほどの美しさを放つ感性を生み出してきました。また職人たちは、建築や茶道など暮らしや文化を創り支える道具も生み出しています。本展では「職人が使う道具」「職人が作る道具」を集め、職人の技術と感性を生み出す相方とでも言うべき道具の魅力と、道具を作る職人の減少などの課題を紹介します。

京都伝統産業ミュージアム
Kyoto Museum of Crafts and Design

株式会社京都産業振興センター
（京都伝統産業ミュージアム）
京都市左京区岡崎成勝寺町
9 番地の 1
京都市勧業館みやこめっせ地下 1 階
TEL:075-762-2670
https://kmtc.jp/

観覧料｜
一般　500 円
団体　400 円（20 名以上）
小中高生 400 円
（20 名以上の団体は 300 円）
※障がい者手帳を持参の方本人および介添人 1 名まで無料
※京都市内在住 70 歳以上の方は無料
※京都市内在住 小中学生・高校生は無料

京菓子資料館企画展「お菓子が目にした時代」



菓子の起源とも言われる果物や、日本古来より存在していた餅、外来の食文化の影響を受け作られた唐菓子や点心、南蛮菓子。そして、砂糖の流通量の増加や茶の湯と共に発展を遂げた、四季の風物を表現した雅な上菓子など。それらの菓子は、いつ何処で、どのような空間で、誰により食され楽しまれたのでしょうか。さまざまな時代の菓子が目にした光景を、おもに茶の湯の世界を中心に、「茶会記」や茶室模型、再現菓子などとともに、一部エピソードを交えながらご覧いただきます。

9/23(土)～12/19(火)
休館日｜毎週水・木曜

開催場所｜京菓子資料館２階展示室

開館時間｜10:00～17:00
（最終入館・呈茶席ラストオーダー 16:00）

京菓子資料館では、常設展示で「和菓子のあゆみ」を紹介していますが、本展示では目線を変え、お菓子が見た景色を時代ごとに紹介します。お菓子と共に歩むひと時を楽しんで頂き、その魅力を知って頂ければ幸いです。一階呈茶席では、展示で紹介したお菓子など、お抹茶と一緒にお楽しみいただけます（入館料に含まれます）。

一般財団法人
ギルドハウス京菓子

京都市上京区烏丸通上立売上ル柳図子町 331-2
TEL:075-432-3101
https://kyogashi.co.jp/shiryoukan/

入館料 税込 800 円
（呈茶料を含む）
※京菓子資料館発行のリーフレットご持参で 700 円にご優待

主催｜一般財団法人
ギルドハウス京菓子
後援｜京都府、京都府教育委員会
京都市、京都市教育委員会、京博連
協力｜京菓子司 俵屋吉富

「初代諏訪蘇山（すわそざん）展 － よみがえる革新技法 － 」



本館は、京都工芸繊維大学学内共同利用の教育研究施設として 1980 年に設立されました。翌 81 年 6 月に建物が竣工し、同年 10 月 3 日に開館し、展示を行う一方、逐次収蔵品を受け入れ、本格的な整理・調査が開始されました。本館の所蔵する美術工芸資料は、本学の前身の一つである京都高等工芸学校の創立以来の収集品が基盤となっています。

9/25(月)～10/28(土)
休館日｜日曜日・祝日（ただし、10/1（日）は開館）
10/21（土）

開催場所｜**京都工芸繊維大学 美術工芸資料館**

開館時間｜10:00～17:00
（最終入館 16:30）

明治時代に金沢・京都で活躍をした陶芸家初代諏訪蘇山の作品と諏訪家に伝存する「型」および、Kyoto Design Lab. で三次元スキャナ等を使用して復元した「型」を展示して、初代諏訪蘇山の作品制作に迫る展示。

京都工芸繊維大学
美術工芸資料館
MUSEUM AND ARCHIVES

京都市左京区松ヶ崎橋上町１番地
TEL:075-724-7924
https://www.museum.kit.ac.jp/

一般：200 円
大学生：150 円
高校生以下：無料

※大学コンソーシアム京都に加盟する大学の学生は学生証の提示により無料で入場できます。
※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、戦傷病者手帳または被爆者健康手帳をお持ちの方及び付添の方１名は無料（入館の際は、手帳またはミライロ ID の提示をお願いします）

「～文化庁移転記念事業～御池茶会」



京都市では、文化庁の京都移転を受け、同庁が機能強化の一つとして掲げる「生活文化（茶道、華道、書道、食文化、その他の生活に係る文化）の振興」に一層取り組んでおります。

9/23(土・祝)・9/24(日)

開催場所｜**京都市役所本庁舎**
（和室・正庁の間など）※要事前申込

京都市役所本庁舎（和室・正庁の間など）を会場に、「御池茶会」と題した茶会を開催します。京都の学生（大学生・短大生）が席主を務める、初心者でも参加しやすいお茶会です。当日は、お茶会に参加いただく方に、京都の伝統文化に親しんでいただけるよう、本庁舎内にて、KYOTO Sustainable Network による生け花の展示、トークイベント及び箏・小鼓などの演奏を実施します。

京都市
CITY OF KYOTO

京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町 488
TEL:075-222-3119
（文化芸術企画課）
https://www.city.kyoto.lg.jp/bunshi/page/0000316159.html

主催｜京都市
共催｜「伝統産業の日」実行委員会
企画・特別協力｜
KYOTO Sustainable Network

「京都国際映画祭」



会場｜よしもと祇園花月、京都国際マンガミュージアム、おもちゃ映画ミュージアム、ヒューリックホール京都、京都市京セラ美術館、細辻伊兵衛美術館、鍵善良房 四条本店、華道家元池坊 池坊ビル 1F ロビー、御池ギャラリー（京都市交通局）、京都大学防災研究所アートイノベーション(凸版印刷)、京都リサーチパーク、京都駅ビル、JRA 京都競馬場、西本願寺 聞法会館、イオンモール KYOTO、イオンモール京都五条、イオンモール京都桂川、河原町 OPA、イオンモール久御山、イオンモール高の原、イオンモール北大路、イオンモール草津、ほか

10/13（金）～10/15（日）

開催場所｜**京都市内各会場**

「京都国際映画祭」は 2014 年より「京都映画祭」から引き継いだ伝統と志を重んじ、「映画もアートもその他もぜんぶ」を テーマに「新しいモノ・コト」にも積極的に取り組んできました。
第 7 回からは柔軟に形を変えてオンラインとリアルの良さを併せもつ、ハイブリッドの映画祭として開催しています。
プログラムの詳細は公式 WEB サイトを御確認ください。
https://2023.kiff.kyoto.jp/

京都国際映画祭

京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町 488
TEL:075-222-3119
（京都市文化芸術企画課）
https://2023.kiff.kyoto.jp/

主催｜
京都国際映画祭実行委員会
運営｜
株式会社きょうのよしもと
支援｜京都市
特別後援｜京都新聞、KBS 京都

「阪南市やぐらパレード」



■パレードコース及び周辺道路への路上駐車はやぐら曳行の妨げになります。また、パレード中は安全確保のため、自転車・ベビーカーでのコース内への乗り入れも併せてご遠慮ください。
■市役所前駐輪場は、パレード前日から使用できませんので、市役所裏の仮駐輪場をご利用ください。
■観覧又は付近を通行の際は、事故防止のため、黄色の法被を着用した警備役員及び警察官の指示に従ってください。
※高齢者や障がいのある方など、車いすを使用している方のために、市役所前に専用のバリアフリー観覧席を設けています。ただし、席数など限りがございますので、先着順となります。予めご了承ください。

10/1（日）

開催場所｜**阪南市役所周辺**

開催時間｜16:00-19:00

阪南市内の約20台のやぐらが、市役所前に一堂に集結するやぐらパレードを開催します。各地区で異なる山車の木彫や幕、曳行の様子が見どころです。また、パレードの一週間後に開催される祭礼は100年以上の歴史がある伝統文化です。さらに、今年は阪南市商工会の産直施設「匠の ippin」が、やぐらパレード同日にオープン。見て楽しんだ後はお土産選びもお楽しみください。

阪南市パレード評議会

大阪府阪南市尾崎町 35 番地の 1
TEL:072-471-5678
（阪南市役所 代表）
https://www.city.hannan.lg.jp/kakuka/mirai/mkatsu/spot/yagura.html

■アクセス：南海本線尾崎駅より徒歩 5 分

主催｜阪南市パレード評議会
阪南市祭礼総括責任者協議会
波太神社宮入協議会
後援｜阪南市 / 阪南市商工会

「日常の中のすべての人々に幸せを ── 農業体験を通したコミュニティづくり」



学生団体 Pointillism

私たちがこの団体 Pointillism を設立した当初から掲げている目標として「日常の中の人の幸せ」の追求があります。”毎日の生活の中にあるけれど、まるでないかのように自然なもの。性別や年齢などの「属性」で分けられることのない、多様性あふれる「人」の幸せを追求したい。みんながそれぞれ「幸せ」を感じられる「居場所づくり」がしたい。”
そんな想いを胸に私たちは活動しています。

開催場所｜**大阪府四条畷市田原地域他**

開催日時｜**随時**※右記インスタグラムをご参照ください

私達は「日常の中のすべての人々に幸せを」という理念を持ち、現在大阪府四条畷市田原地域で「農業体験を通したコミュニティづくり」をしています。半年に渡る農業体験や、栽培・収穫・季節ごとのミニイベントを通して、参加者間の新たなコミュニティを形成します。イベントの最終局面には、収穫物を提携飲食店に調理して頂き、ご参加の皆様に自ら育てた食材をお召し上がり頂きます。更に 9 月からは大阪府吹田市でもコンテンツやイベントをバージョンアップし農業体験を行っていきます。

Pointillism

【参考リンク】
■インスタグラム :～大阪府四條畷市・吹田市で農業体験～
https://instagram.com/pointillism_0827?igshid=OGQ5ZDc2ODk2ZA==
■Instagram 写真と動画（活動紹介中！）
■ツイッター：
twitter.com/pointillism0827?s=11&t=owdItcE6l49uC_koTIkaOQ（運営メンバー募集中！）
■TEAM EXPO2025: キッチンガーデン～新たな農業体験で幸せなコミュニティを～|TEAM EXPO 2025 | CHALLENGE（記事掲載中！）

京都国際マンガミュージアム



「マンガって何？」という疑問に対応した、マンガを歴史や社会・産業等、各分野別に理解できる展示を常設しています。また、会場の壁面には、大正期から2005年までの各マンガ賞受賞作を中心とした各時代の名作マンガ本を集めた書棚「マンガの殿堂」を展開しています。
※10/26（木）～「アフリカマンガ展 Comics in Francophone Africa」開催

常設展示

休館日｜毎週水曜日（休祝日の場合は翌日）
※芸術祭連携期間　9/1（金）～10/15（日）
開館時間｜10:30～17:30（最終入館 17:00）

当館は、京都市と京都精華大学の共同事業で、いまや世界から注目されているマンガ資料の収集・保管・公開とマンガ文化に関する調査研究、これらの資料と調査研究にもとづく展示やイベント等の事業を行う、博物館的機能と図書館的機能を併せ持った、新しい文化施設です。当館で保存されるマンガ資料は、江戸期の戯画浮世絵から明治・大正・昭和初期の雑誌、戦後の貸本から現在の人気作品、海外のものまで、約30万点。これらの資料をもとに進められる調査研究の成果は、展示やセミナー、ワークショップという形で発表＝公開しています。

京都国際マンガミュージアム
KYOTO INTERNATIONAL MANGA MUSEUM

京都市中京区烏丸通御池上ル（元龍池小学校）
TEL:075-254-7414
https://kyotomm.jp/

入館料｜
個人
大人　900円
中高生　400円
小学生　200円
団体（20名以上）各種割引
大人　720円
中高生　320円
小学生　160円

清水焼の郷会館



江戸時代より京都のやきものは華麗な色彩や繊細なデザインをもつ多種多様なやきものが生み出されてきたことで高い評価をえました。野々村仁清や尾形乾山、奥田頴川、青木木米など名工たちも個性あふれる優品を数多く残しています。その優れた意匠と高い技術を育む伝統は今日まで受けつがれ、京焼・清水焼は現在も一つ一つ職人の手で丹精を込めて作られております。京焼・清水焼の生産地で散策しながらお買い物を楽しんでください。

常設展示

休館日｜土・日・祝日
※芸術祭連携期間　9/1（金）～10/15（日）
開催場所｜清水焼の郷会館
開館時間｜9:00～17:00

2013年10月「京焼・清水焼工芸館」が「清水焼の郷会館」に名称を変更し移転いたしました。陶芸作家らの展示スペースを備え、清水焼団地協同組合の事務所と工房も付設しておりアンテナショップとしての役割を充実させました。
手技を結集させた陶工達の個性あふれる作品は、季節ごとに、また展覧会ごとに様々な顔を見せてくれます。京焼・清水焼の美の競演を、郷会館にてぜひご堪能ください。

清水焼の郷
KIYOMIZUYAKI no SATO
清水焼団地協同組合

京都市山科区
川田清水焼団地町10-2
TEL:075-581-6188
https://www.kiyomizuyaki.or.jp/

入場料｜無料
アクセス■名神高速「京都東インター」から西へ約5分、国道1号線（五条通）新大石道の信号（香の川製麺山科店）を左折すぐ/阪神高速「山科インター」から北へ約3分、ローソンを超えて1つ目の信号を左折 ※無料駐車場あり
■JR「山科駅」・阪急京都線「河原町駅」・京阪電車「清水五条」「祇園四条」「三条」駅から京阪バス「川田」または「清水焼団地」下車

NISSHA印刷歴史館



NISSHA本館について
1906年（明治39年）、紡績会社（旧京都綿ネル）の本社事務所として建てられたこの建物は、100年以上の歴史を有する大変貴重な明治時代の建築物で、2009年（平成21年）にNISSHA印刷歴史館が1階に開設された。2011年（平成23年）には文化庁から国・登録有形文化財の登録認定を受け、文化と歴史を象徴した建物として今後長く保存され続ける。

常設展示

休館日｜土・日・祝日
※芸術祭連携期間　9/1（金）～10/15（日）
開館時間｜10:00～17:00 ※要予約

NISSHA印刷歴史館には、4000年前の楔形文字粘土板や百万塔・無垢浄光陀羅尼経、解体新書初版本、ゼネフェルダー石版印刷機、ハイデル活版印刷機などの実物や、グーテンベルク印刷機（復刻）、42行聖書（ファクシミリ版）など、印刷の起源から近代に至るまでの大変貴重な資料を展示している。他にも明治の建物遺構や、古い欧文タイプライターや鉛筆削り、「国宝」「原色日本の美術」「ルーブル全集」などの豪華本を自由に手に取って見られる部屋もある。

NISSHA印刷歴史館

京都市中京区壬生花井町3番地
TEL:075-823-5318
https://www.nissha-foundation.org/history_museum/

入場料｜無料

団体および個人ともに、前日までに電話でご予約をお願いします。

申込先｜一般財団法人NISSHA財団　事務局
TEL｜075-823-5318

福寿園京都本店（福寿園京都ギャラリー）



京都の中心・四条通に位置する福寿園京都本店。
地下１階、地上９階建ての施設では、フロアごとにコンセプトを掲げ、京都に息づく王朝文化と宇治茶の世界を展開しています。
自分好みのお茶づくり体験やお茶尽くしのフランス料理、茶室での抹茶体験など、さまざまなお茶の楽しみ方が体験できて、まるで宇治茶のテーマパークのよう。

常設展示　定休日｜毎週水曜日＊

※芸術祭連携期間　9/1（金）～10/15（日）

営業時間｜11:00～18:00＊

1790（寛政２）年創業の老舗茶舗・福寿園の京都本店の内装は「京の庭」がテーマ。尼崎博正教授の設計で、各階に茶の心を表現した坪庭が設けられている。「京の技」としては、人間国宝の近藤悠三氏（染付陶器）、喜多川俵二氏（有職織物）、早川尚古齋氏（竹工芸）、羽田登喜男氏（友禅）、中川清司氏（木工芸）、村山明氏（木工芸）、清水卯一氏（鉄釉陶器）の作品が各階に納められており、いわば、建物全体がギャラリーといえる。

京都市下京区四条通富小路角
TEL:050-3152-2901
https://www.fukujuen-kyotohonten.com/

＊営業時間・定休日はフロアによって異なります。
「福寿園京都本店」のホームページ（上記）で「新着情報」をご確認ください。

「昭阿弥の仕事展　Kiyomizuyaki inherited style」



京都陶磁器会館は、清水焼の発祥の地・五条坂に位置する。伝統ある京焼・清水焼の発信基地として建てられ、より人々に近い立場で魅力を発信し続けている。１階は常設展示コーナー。伝統に磨かれた京都の名工の作品や、京都で活躍している若手陶芸家の感性豊かな新作を展示・販売。２階は企画展示コーナーで、定期的に作家の個展や企画展を行っている。

9/29（金）～10/11（水）

休館日｜毎週木曜日

開催場所｜京都陶磁器会館 2Fギャラリー

開館時間｜10:00～18:00（最終日は17:00まで）

昭阿弥窯は今年で開窯より93年となります。
初代が柴田如阿弥に師事し独立後、煎茶道具を制作。二代目に入り割烹食器やその他の品物を染付、色絵、赤絵、交趾等の技法を用い作陶して参りました。
初代が師より受け継いだものを継承、変化させながら現在まで繋がった「清水焼」をご覧頂ければ幸いです。
現在三代目、東山区今熊野にて作陶。

The Kyoto Ceramic Art Association
Official Shop & Gallery
京都陶磁器会館
KYOTO CERAMIC CENTER

京都市東山区東大路五条上ル遊行前町583-1
TEL:075-541-1102
http://kyototoujikikaikan.or.jp/

入場料｜無料
■ 電車でのアクセス
JR東海道新幹線・東海道本線「京都駅」より市バス「五条坂」下車すぐ・京阪電車京都線「清水五条」駅下車　東へ徒歩約10分
■ 車でのアクセス
名神高速道路京都東ICから京都・大阪方面へ。東山五条交差点を右折100m先。約6.6km約11分

「第11回 天才アート展2023 オープンスタジオ」



天才アートとは、障碍のある人やひきこもり者などの多くがもっている優れた感性と表現力、そこから湧き出る独創的なアート作品に対して、NPO法人 障碍者芸術推進研究機構（天才アートKYOTO）が独自にネーミングしたものです。当機構は天才アートを推進し、その啓発・普及活動を積極的に行っています。

9/30（土）～10/15（日）

休館日｜10/3（火）、10/10（火）

開催場所｜天才アートKYOTO きたアトリエ（ふれあい共生館内）

開館時間｜11:00～17:00

第11回天才アート展オープンスタジオ2023を、当機構拠点のきたアトリエにて開催します。作家の制作の場であるアトリエ内に登録作家40余名の作品を一堂に展示し、作家の制作の様子が読み取れる、臨場感あふれる展覧会は、ギャラリー展示とは違う面白さがあります。なお、「OPEN STUDIOS」としてアトリエを会場に開催するのは今展が最後となります。来年度以降、コロナ禍の終息も見込まれることから、市中のギャラリーを会場とする形態に戻す予定です。皆さまのご来展を心よりお待ちしております。

TENSAI Art KYOTO

特定非営利活動法人
障碍者芸術推進研究機構
きたアトリエ
京都府京都市北区紫野西舟岡町2
TEL:075-334-5180
http://tensai-art.kyoto/

入場料｜無料

共催｜京都市 / 京都市教育委員会
後援｜京都新聞 /（公財）京都新聞社会福祉事業団
助成｜（公財）大阪コミュニティ財団
特別助成｜（一財）NISSHA財団
特別協賛｜（株）SCREENホールディングス
協賛｜洛和会ヘルスケアシステム

「KYOTO EXPERIMENT2023」



主な会場
・京都市京セラ美術館　・ロームシアター京都
・京都芸術センター　・京都芸術劇場 春秋座
・THEATRE E9 KYOTO
・京都市京セラ美術館

9/30（土）～10/22（日）
開催場所｜**京都市内各会場**

世界各地の実験的な舞台芸術を創造・発信し、芸術表現と社会を新しいかたちの対話でつなぐことを目的に京都市内各会場で演劇やダンス等の公演を実施。2023年は「まぜまぜ」をキーワードに、言語、アイデンティティ、文化の混ざりあいに目を向けた、世界各地の実験的な舞台作品を上演します。言語のあり方が変遷していくことや混交すること、個人のアイデンティティが常に変化し他者の影響が混じることなど、さまざまな「まぜまぜ」で複数性や流動性を思考の軸にしながらいまを捉えなおします。

KYOTO EXPERIMENT

京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町488
TEL:075-222-3119
（文化芸術企画課）
https://kyoto-ex.jp/

主催｜
京都国際舞台芸術祭実行委員会
費用｜各プログラムにより異なります
詳細は公式WEBサイトをご参照ください
https://kyoto-ex.jp/

「ARK（Art Rhizome KYOTO）」

まちなかでの若手芸術家等の作品の展示・販売を行うARK（アルク）（Art Rhizome KYOTO（アート リゾーム キョウト）
【会場】Cafe ふふふあん
Gion Elite Terrace（祇園エリートテラス）
高地トレーニングスタジオ SOLERA
THE REIGN HOTEL KYOTO（ザ・レインホテル京都）
HOTEL RINGS KYOTO（ホテルリングス京都）

10/1（日）～2024 1/30（火）
開催場所｜**京都市内各会場**

京都市では、若手芸術家等の活動環境の向上とアート市場の活性化を図るための取組を進めています。「ARK（Art Rhizome KYOTO）」では、京都市内の宿泊施設やカフェ等で、京都にゆかりのある若手芸術家等の作品の展示・販売を行います。
第2回目となる秋会期は、令和5年10月1日（日）から市内の各会場で開始します。
各会場及び展示作品の詳細については公式ホームページ（http://artrhizome.jp）にて順次公開予定です。各会場の最新の情報は公式ホームページを御確認ください。

ARK
（Art Rhizome KYOTO）

京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町488
TEL:075-222-3119
（文化芸術企画課）
http://artrhizome.jp

主催｜京都市
運営｜株式会社TCI研究所
株式会社ジェイアール東日本企画

「artKYOTO2023」



【artKYOTOとは】世界遺産・二条城を舞台に、国内外のギャラリー・美術商が厳選するアート作品を展示・販売するアートフェアです。天井に重厚な梁が渡り、土間と板間が一体となった歴史を感じさせる特別な空間で、古美術や工芸、近代美術、現代アートなどの多彩なジャンルの作品を展示・販売いたします。

10/6（金）・10/8（日）
10/9（月・祝）
開催場所｜**元離宮二条城 二の丸御殿台所など**
開催時間｜（10/6・10/8）12：00-19：00
（10/9）11：00-16：00

artKYOTO、5年目となる本年は、国内のギャラリーだけでなく、日本インドネシア国交樹立65周年を記念し、インドネシアからアーティストの招聘を予定しております。また、インバウンド観光客の誘客向上にも取り組み、千年を超えて日本の都であり、文化庁が全面的移転した京都から、多彩なアートイベントで国内外からの注目が高まる10月、世界へ向けアートの可能性を発信いたします。

artKYOTO 2023

京都府京都市中京区二条城町541 二条城
問い合わせ｜
TEL:075-222-3119
（京都市文化芸術企画課）
https://www.artkyoto.jp/

入場料｜一般2000円
NFTチケット1580円
（決済手数料込2000円）

主催｜artKYOTO2023実行委員会
特別協賛｜株式会社大丸松坂屋百貨店
協賛｜株式会社マツシマホールディングス
後援｜内閣府、外務省（後援名義）、経済産業省、文化庁、観光庁、各国大使館（61箇国）ほか

藝文京コンサート「ピアノの時間」



京都芸術センターは、京都市、芸術家その他芸術に関する活動を行う者が連携し、京都市における芸術の総合的な振興を目指して 2000 年 4 月に開設されました。
多様な芸術に関する活動を支援し、芸術に関する情報を広く発信するとともに、芸術を通じた市民と芸術家等の交流を図ることを目的としています。

9 / 6（水）
開催場所｜**京都芸術センター**
上演時間｜18:00-18:40

京都芸術センターにあるグランドピアノの演奏を中心にしたコンサート「藝文京コンサート ピアノの時間」がはじまりました！京都芸術センター開設時（2000 年）にやってきた KAWAI のピアノと、明倫小学校から受け継がれた 100 歳を超える PETROF 社（チェコ）のピアノが各回ごとに登場します。それぞれの個性と音色、元小学校のノスタルジックな雰囲気と共にお愉しみください。演奏は当協会会員に加え、京都市立芸術大学の新キャンパス移転を記念して、同大学の学生及び卒業生等にもご出演いただきます。演奏：原 由莉子（ピアノ）演奏曲：ショパン / 幻想即興曲　ブラームス / 2つの狂詩局 79 より ほか

KYOTO ART CENTER 京都芸術センター

京都市中京区室町通蛸薬師下る山伏山町 546-2
TEL:075-213-1000
https://www.kac.or.jp/

入場料｜無料

主催：京都市
公益財団法人京都市芸術文化協会
協力：公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団
公立大学法人京都市立芸術大学

■アクセス
京都市営地下鉄「四条駅」
阪急京都線「烏丸駅」
22・24 番出口より徒歩 5 分

ダンスダンスレボリューションズ



グラフィックデザイン：趙文欣

京都芸術センターは、京都市、芸術家その他芸術に関する活動を行う者が連携し、京都市における芸術の総合的な振興を目指して 2000 年 4 月に開設されました。
多様な芸術に関する活動を支援し、芸術に関する情報を広く発信するとともに、芸術を通じた市民と芸術家等の交流を図ることを目的としています。

9 / 21（木）～ 9 / 24（日）
開催場所｜**京都芸術センター**
上演時間｜
（9/21・22）19:30（9/23・24）14:30
※オープンリハーサル
9/2（土）・9/18（月・祝）13:00~

2019 年より継続して協働を行なう劇作家・松原俊太郎と二人組の舞台作家・小野彩加 中澤陽 スペースノットブランク。五度目の協働となる京都芸術センター Co-program2023 に選ばれた企画「不自由な言葉を離す身体」では、戯曲の執筆と舞台の構築の関係性を再考するべく、制作の最初から作者と演出者が一堂に会してクリエーションを実施する。

KYOTO ART CENTER 京都芸術センター

京都市中京区室町通蛸薬師下る山伏山町 546-2
TEL:075-213-1000
https://www.kac.or.jp/

入場料｜前売券：2,900 円
当日券：4,000 円

主催｜松原俊太郎
スペースノットブランク
京都芸術センター
（公益財団法人京都市芸術文化協会）

■アクセス
京都市営地下鉄「四条駅」
阪急京都線「烏丸駅」
22・24 番出口より徒歩 5 分

「FOCUS#5 麥生田兵吾『色堰き空割き息返かかか』」



京都芸術センターは、京都市、芸術家その他芸術に関する活動を行う者が連携し、京都市における芸術の総合的な振興を目指して 2000 年 4 月に開設されました。
多様な芸術に関する活動を支援し、芸術に関する情報を広く発信するとともに、芸術を通じた市民と芸術家等の交流を図ることを目的としています。

8 / 19（土）～ 9 / 18（月・祝）
開催場所｜**京都芸術センター**
開館時間｜10:00-20:00　休館日｜9/4（月）

近年の AI が作るフェイク画像の発明は、視覚的なイメージが実在の世界の「写し」であると素朴に信じることの出来ない状況を作り出しました。視覚的イメージの変容は、私たちが抱く世界像をも変容させるでしょう。
　麥生田は、こうした状況の内側で、私たちの感性や認識を批判的に捉え返します。私たちが認識出来るものと、出来ないもの。認識しているものの、ただの情報として退けられるもの。写真によって、私たちの認識と感性のあり方を探究してきた麥生田が作る展示空間の中で、私たちは何を見るのでしょうか。

KYOTO ART CENTER 京都芸術センター

京都市中京区室町通蛸薬師下る山伏山町 546-2
TEL:075-213-1000
https://www.kac.or.jp/

入場料｜無料

主催　京都芸術センター
（公益財団法人京都市芸術文化協会）
助成　全国税理士共栄会文化財団
協力　株式会社サンエムカラー

■アクセス
京都市営地下鉄「四条駅」
阪急京都線「烏丸駅」
22・24 番出口より徒歩 5 分

「奥河内音絵巻 2023 地球オルガン実験フェスティバル」



今年の音絵巻は、「音で遊びたおす！！」
河内長野と世界の様々な音が出会い、共鳴し、体験し、五感をフルに使って楽しめる、万博先取りなフェスティバル！！
TEAM EXPO 2025 プログラム／共創チャレンジ『地球オルガンプロジェクト』～世界の森を音で繋ぐ。

9/10（日）

開催場所｜**ラブリーホール**

開催時間｜11：00 開演 /15：00 開演

【演奏】
山鳴らす All Stars（サキタハヂメ、大森ヒデノリ
えぐちひろし、池田安友子、田島隆、山下憲治
上沼健二、森崇、大嶋奈央子、佐々木善暁）

【出演】
ラブリーホール・ミュージカルスクール
ラブリーホールのこぎり音楽教室＆チームのこぎり
ラブリーホール伝統音楽教室
オッカサン＆オカンテレ愛好会

サキタハヂメ
https://hajimesakita.com/

（公財）
河内長野市文化振興財団
ラブリーホール
大阪府河内長野市西代町
１２－４６
TEL:0721-56-6100
https://lovelyhall.com/index.cgi

■アクセス：南海電鉄
河内長野駅より徒歩約７分

主催・制作｜
（公財）河内長野市文化振興財団
＜ラブリーホール＞
芸術文化振興基金助成事業

京の食文化ミュージアム・あじわい館



京の食文化ミュージアム・あじわい館について
伝統的かつ創造的な京の食文化の素晴らしさを実感していただくとともに、市場及び地域の活性化を図るため、食材の宝庫である京都市中央市場に、「京の食文化ミュージアム・あじわい館」を開設しています。京都のさまざまな食文化を伝える各種展示とともに、プロに学ぶ料理教室・講演会等を多数ご用意しております。

常設展示　休館日｜水曜日（祝日を除く）

※芸術祭連携期間　9/1（金）～10/15（日）

開館時間｜8:30～17:00

当館は京の食文化について学ぶミュージアムです。「見る」「つくる」「あじわう」をテーマに、京都の食文化に関する展示、だしの試飲、毎月開催している料理教室（有料）などが体験できます。
展示室の見学は予約不要、入場無料です。
団体のみなさまには様々な体験コースをご用意しておりますので是非お気軽にご来館ください。

あじわい館主催料理教室・講演会
（要事前申込・有料）
詳しくはこちら▶

京の食文化ミュージアム
食 あじわい館

京都府京都市下京区中堂寺南町 130 番地
京都青果センタービル 3 階
TEL:075-321-8680
https://www.kyo-ajiwaikan.com/

入場料｜無料

京の食文化ミュージアム・
あじわい館ホームページ▼

「墨で日本を世界に伝える画家　momo展」



【momo】筆ペン・墨・ボールペンなどを使用し日本の景色や文化を描く。フランス・オランダ・ベルギーなどで個展・グループ展・イベント等に参加。2023 春 BIFFE（Brussels International fantasy film festival）アート部門優勝。来春、ベルギー同フェスティバルで個展開催。

10/7（土）～10/12（木）

開催場所｜**be-kyoto**

京都市上京区新町通上立売上る安楽小路町 429-1

開催時間｜10：00-17：00

今回の展示は主作品である風景画とsustainable art “ENSO”。“ENSO”は作者の想い、日本と世界を繋ぐコンセプトから完成した作品。ベルギーペーパーアーティストが廃棄用紙から作った紙と静岡茶製造時に廃棄される茶粉末で出来たインクを使い円相を完成。日本に拠点を移して初めての展示会となる。

10/13（金）～10/15（日）
みやこメッセ 第3展示会場
「～エッグンワークス みんなの原画展～」へ出展
作品名「追憶 la chasse aux souvenirs sans fin」

momo

email：
japanpastelmomo
@gmail.com

be-kyoto:
京都市上京区新町通上立
売上る 安楽小路 429-1
TEL 075-417-1315（代）

主催｜ART-M
後援｜株式会社 TTN コーポレーション

「華麗なるミトオリハルコの美の世界―ミトオリハルコの幽玄の世界―」



【MIGallery について】MI ギャラリーは、広く芸術全般のためのギャラリーとして、2008 年にオープンしました。アートやファッションをはじめ、ジャンルを超えたアーティストの交流、若手育成を目的としています。またアーティストの国内および海外の美術館、プロダクションへの紹介や文化庁推薦の支援なども行っております。

10/3（火）～10/13（金）

開催場所｜**MIGallery**

開催時間｜13：00-18：00

長きにわたるミトオリ作品のアーカイブから現在に至るまでの展示でございます。日本の伝統的な着物の素材のイメージと日本の墨をインスピレーションにした手書きの大胆な、一筆書きのものを和のテイストを取り入れながら、モダンにコンテンポラリー的なアーティスティックな着物ドレスへと変化させています。
パリの香りと、日本の伝統的スピリッツの、モダンなラグジュアリーなイメージの着物ドレスに仕上げています。丹念に仕上げて、オートクチュールの仕事で仕上げ、今の現代の風を入れています。

MI gallery

大阪府大阪市北区西天満1-2-23
北浜ミトオリビル 1F
TEL:06-6362-0907
https://migallery-jp.com/

■アクセス
地下鉄堺筋線・京阪本線「北浜駅」26 番出口より、難波橋（なにわばし）を渡って、全農（JA）ビルの手前を東に入り、一つ目の角（Label Cafe）を北に曲がってすぐ（辻学園調理専門学校南側、赤レンガのビル 1 階）

「ミオいろどりマルシェ」



【和文化発信プロジェクトの想い】このプロジェクトのスタッフ、運営陣は皆さん子供がいるママさんです。代表者も子供を持ち、日本の文化を子供たちに伝え、日本に住む私達が日本の素晴らしい技術や文化に気づき、職人さんには次世代に技術を繋ぐ場作りができたらいいな、とプロジェクトをたちあげました。

10/14（土）・10/15（日）

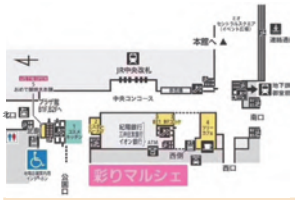
開催場所｜**天王寺ミオ**
プラザ館1F JR天王寺駅公園口前
大阪市天王寺区悲田院町 10-48

開催時間｜11：00-17：00

2019 年より始まりました本プロジェクトは和文化に携わる様々なプロの方とのご縁が繋がり、日舞や和菓子販売、着物のショーなど開催をさせていただき想像を超える沢山の方に来ていただけました。その後、コロナ禍もあり 2020 年 は開催を見送りましたが、2021 年よりマルシェを併設した形式で開催致しました。本年は日本の食品販売や自然素材を使用した遊びのワークショップなどを行います。

Irodori
We have evolved by Aeon

問い合わせは下記ホームページの、お問い合わせフォームよりお願い致します。
https://www.irodori2020.net/





第１回日本国際芸術祭では、京都府様、京都市様、「大阪・関西万博」京都支援協議会様、(公社)２０２５年日本国際博覧会協会様、経済産業省 近畿経済産業局様、(一社)関西経済同友会様、大阪商工会議所様、(公社)関西経済連合会様のご後援を賜り、また、阪急電鉄株式会社様、オムロン株式会社様、岩井コスモ証券株式会社様、ジーライオングループ様、住友林業株式会社様のご協賛を賜り、４５日間の会期を華やかに開催させて頂くことができました。これもひとえに皆様のご支援あってのことで、厚く御礼申し上げます。

日本国際芸術祭は、今後もアート・デザイン・サイエンス・テクノロジー・経済の共創を目指し、2024年、2025年(京都と万博会場)、2026年、2027年と、万博までも万博後も、千年の都京都、文化庁がある文化首都京都で毎年継続して開催していく予定です。

多様な文化・価値観の相互理解を深め、いのち輝く未来社会を創造する国際的な交流・共創の輪を拡げるべく、第２回日本国際芸術祭開催に向け、目下、準備を進めております。今後も更に京都市内・京都府内の画廊、工房、企業ショールーム、大学研究室、美術館、工場(オープンファクトリー)、寺社仏閣等を繋ぎ、京都を中心に展開し、そこに大阪や全国が繋がっていく形を創り上げます。

2024年秋に開催予定の第2回日本国際芸術祭につきましても、ご協賛、ご後援など、更なるご支援を賜りますようお願い申し上げます。

今後とも、何卒宜しくお願い申し上げます。





日本国際芸術祭に関するご質問やお問い合わせは、夢洲機構事務局へメールかお電話にてご連絡ください。

【夢洲機構事務局 連絡先】
TEL：06-6136-8803 ／ E-mail：info@yumeshimakikou.com